

# CSR 報告書 2024

あたたかく やさしく 人にも 地球にも

*Trust by believe and consent*

*History*

*Top Message*

*Report 2024*

*Caring for the environment*

*Statistics*

*Outline*

河北総合病院

社会医療法人 河北医療財団  
**Kawakita Medical Foundation**

新 河北総合病院移転開院

# Kawakita Health Support Network

● 杉並エリア ■ 多摩・稲城エリア

## ● 河北総合病院



1928年病床数30床でスタートし、現在331床の総合病院として地域の診療所や介護施設等との連携を確立。救急拠点病院、地域医療支援病院として高度な急性期医療を提供。臨床研修病院として人材教育にも力を注ぐ。※ 2025年7月移転

## ● 河北総合病院 分院

内科・心療科・呼吸器系・腎臓・膠原病系・血液内科の外来診療や専門病棟を有する。2024年7月から眼科・皮膚科の外来診療開始。※ 2025年5月開院



## ● 河北サテライト クリニック

河北総合病院 分院開院に伴い、2025年6月より内科・皮膚科の外来診療開始。



## ● 河北健診クリニック



健診・人間ドックの専門機関。スムーズで快適な健診と充実したアフターフォロー。女性に優しいクリニック。  
※ 2026年1月移転予定

## ● 事業所内保育事業

かわきたおひさま保育所

## ● 介護老人保健施設 シーダ・ウォーク



個人の尊重と在宅生活復帰への支援を優先に考え、家庭的な雰囲気の中でケアを提供。

## ■ あい介護老人保健施設



入所・ショートステイ・デイケアを有し、在宅復帰のためのリハビリテーションを提供。

## ● 河北居宅介護支援事業所南阿佐谷

- あいグループホーム天の川
- あいグループホームどんぐり
- あい看護小規模多機能施設ほたる
- あい看護小規模多機能施設おきな
- あい小規模多機能施設かりん
- あい小規模多機能施設こもれび
- あいフィットネスサロンさくら

救急  
急性期

回復期

社会医療法人  
**河北医療財団**  
Kawakita Medical Foundation

— 理念 —

社会文化を背景とし  
地球環境と調和した  
よりよい医療への挑戦

健康管理

維持期

介護

## ● 提携施設 医療法人社団 三成会 河北前田病院



- あいクリニック中沢
- あいクリニック平尾
- あい訪問看護ステーション
- あい訪問看護ステーション中沢
- あい訪問看護ステーション平尾
- ケアプランセンターあいクリニック
- ケアプランセンターあいクリニック中沢
- ケアプランセンターあいクリニック平尾

## ● 河北リハビリテーション病院

回復期リハビリテーションの専門病院として、地域の医療機関や医師会などと連携し、退院後も視野に入れた優しいサポートを提供。



## ■ 天本病院

1980年、多摩市貝取に設立。高齢者医療・ケアに取り組み、地域の在宅療養を支援。



## ● 河北透析クリニック

透析専門施設「河北葦クリニック」から2018年3月、「河北透析クリニック」として開設。



## ● 河北ファミリークリニック南阿佐谷

2019年3月開設。診療科にとわらず、身近な存在としての医師、家庭医(プライマリ・ケア医)として家庭医療を提供。



## ● 河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷

在宅での医療サービスを通して地域の皆さんを支援し、「ともに創り上げる医療・ケア」を実現。

## ● 杉並区委託事業 地域包括支援センター (ケア24阿佐谷・ケア24松ノ木)

- 多摩市委託事業  
多摩市中部地域包括支援センター  
多摩市中部高齢者見守り相談窓口  
桜ヶ丘いきいき元気センター

## ■ あいクリニック



高齢者のプライマリ・ケアを提供する在宅療養支援診療所。24時間体制の在宅医療を推進。

# 河北医療財団の「CSR」とは

CSR(Corporate Social Responsibility)とは、

倫理的観点から事業活動を通じて、

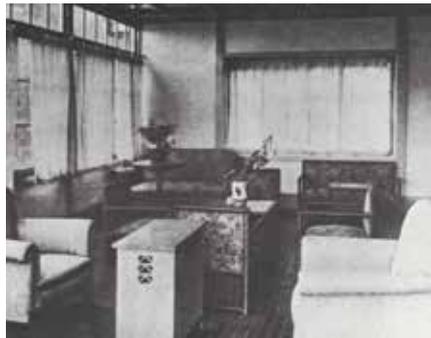
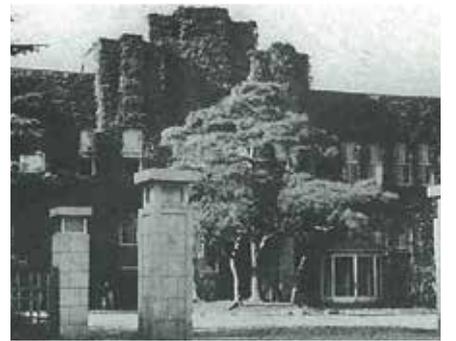
人権やコンプライアンスの遵守、環境問題への配慮、地域社会との共存・貢献といった企業が果たすべき社会的責任を指します。

河北医療財団は、

財団理念である「社会文化を背景とし 地球環境と調和した よりよい医療への挑戦」に基づき、医療という本業により、地域社会の健康向上に貢献します。

## 理念と目的

理 念	社会文化を背景とし 地球環境と調和した よりよい医療への挑戦	
目 的	質の高い恕(おもいやり)のある医療を行うとともに地域の健康向上に寄与する	
標 語	<b>WHAT思考:社会病理</b> <b>Balance:基軸</b> 究めていよいよ遠く あたたかく やさしく 人にも 地球にも 安心と納得が創る信頼 受容 傾聴 共感 学び(心で感じ) 考え 行う NKFarm もったいない、我慢する、面倒くさがない 小学5年生 医療は冰山 病院ってカッコいい 確立された医療を確実に 情緒的で色っぽい医療を	実態と表現 人が育ち、自らが考え、皆で実現する 気配 六感を研ぎ澄ます 磨けば輝く 打てば響く 雰囲気薫る 味わいのある情 心が温かい 知恵・見識・自然 待たされ感の解消 人間の復権 <b>Management:継続して社会価値を創造し続けること</b> より良き社会をつくる(Peter Ferdinand Drucker) trained common sense <b>人間の尊厳:その人らしいこと</b> 徳育・体育・知育 事前調整から結果責任へ
方 針	1. ●‘地域の人の期待’ に応える医療の確立(権利と責任) ●疾病治療と健康生活支援 2. 教育(伸びる芽が伸びる) 3. 職員の働き甲斐の向上をはかる(ライフサイエンス) 4. 健全経営 5. 地球環境保全 を通じてのGovernance(診療・看護・技術・運営・教育・IT・環境)	



# CSR REPORT 2024



河北医療財団は、2012年より ANNUAL REPORTを発行してまいりました。当財団の取り組みや姿勢をより詳細にお伝えすべく、2017年度よりCSR(Corporate Social Responsibility)報告書として、リニューアルいたしました。河北医療財団が考えるCSRとは、医療という本業により、地域社会の健康向上に貢献していくことです。医療・福祉・介護を担い、お一人おひとりの尊厳を大切にし、生活に寄り添うことは当然の使命と考えております。100周年に向かって「恕(おもいやり)」の様々な活動や取り組みをご報告いたします。

■ 報告期間  
2024年度(2024年4月～2025年3月)  
の活動や統計データを記載しております。

■ バックナンバー  
「CSR報告書」ならびに  
「ANNUAL REPORT」は、当財団の  
WEBサイト上で公開しております。  
▷「河北医療財団について」  
<https://kawakita.or.jp/>

■ 発行  
社会医療法人 河北医療財団

■ 発行日/2025年7月1日

■ お問い合わせ  
社会医療法人 河北医療財団 広報課

〒166-8588  
東京都杉並区阿佐谷北1-6-1  
☎03-3339-5724  
e-mail:press@kawakita.or.jp

## CONTENTS

◆安心と納得が創る信頼	P05
◆沿革	P06
◆TOP MESSAGE	P07
社会医療法人 河北医療財団 理事長 河北 博文	
◆Report 2024-2025	P09
Topics	P15
地域の皆さまでともに	P16
地域医療連携	P17
環境へのおもいやり	P18
職員の教育・研修	P19
◆統計	
杉並事業部	P21
多摩事業部	P35
◆財団概要	P38
◆施設・事業所案内地図/連絡先一覧	P39
◆各施設概要	P41
◆学会・論文発表	P42
◆年間イベントカレンダー	P45

# 安心と納得が創る信頼

## 患者さんの権利と責任 — 私たちの財団の姿勢 —

公正な医療をめざすための大切な行動指針とし、患者さんと医療従事者（医療者）がともに主体性に根ざした協働の関係がなければならないと考えております。患者さんは、医療に参加し、医療者と協力する責任があります。私たちの財団では、常設の倫理委員会において、引き続き、医療の基本姿勢に関して論議してまいります。患者さんの権利と責任は、よりよい医療をおこなう上で大変重要です。そのためにも、患者さんに、これらのことをご理解いただきますようお願い申し上げます。

### 私たち医療者は、以下のことを努力します

- ・医療者としての良心と使命に基づいて、患者さんと強い信頼関係を築くこと
- ・医師による説明と患者さんの納得に基づく医療を提供すること
- ・患者さんの人生が最期まで豊かであるように、その意思を尊重すること
- ・よりよい医療をおこなうように研鑽、研修に励むこと

## 個人情報保護方針

よりよい医療を提供するため、以下の取り扱い方針を宣言いたします。

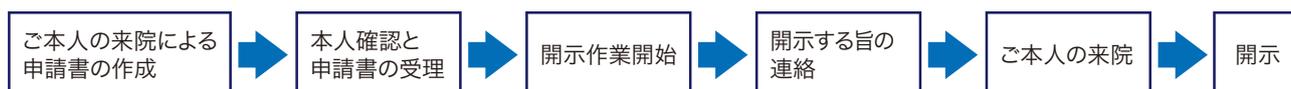
- ・患者さん・利用者さん個人が自らの権利と責任において、最適な診療を得られるよう本人の意思を尊重する
- ・個人情報の「収集」「利用」「提供」において、公正な規定に従い適切な運用をおこなう
- ・財団の保有する個人情報への不正アクセスや、個人情報の紛失、破壊、改ざん、漏えいの予防措置を講じる
- ・個人情報に関する法令、内部規定の遵守に努める
- ・財団で策定する「個人情報保護マネジメントシステム」を随時見直し、継続的改善を図る
- ・個人情報保護措置の運用について定期的な内部監査を実施する

## カルテ開示について

私たちは「医療における信頼の創造」をテーマに掲げて、従来の医療提供のあり方、患者さんとの関係のあり方を機会あるごとに見直してまいりました。

その一つに診療情報は患者さんご本人の求めに応じて開示し提供いたします。

### ■カルテ開示の流れ



各詳細については、ホームページをご確認ください。

個人情報保護方針 [https://kawakita.or.jp/kmf/content\\_effort/trust/](https://kawakita.or.jp/kmf/content_effort/trust/)

患者さんの権利と責任・カルテ開示について <https://kawakita.or.jp/suginami-area/kgf/outline/>

【お問い合わせ・ご相談】

河北医療財団 CS推進課 (03-3339-2121 内線:252001)

# 沿革

1928-48	河北真太郎が河北病院(内科、小児科/病床数30床)を開設、インターン教育研修開始
1950	医療法人財団 河北病院改組(職員数106名、病床数161床) 河北真太郎が理事長に就任
1952	河北恵文が第2代理事長に就任 河北真太郎逝去(1953)
1957	総合病院認可取得(職員数167名、病床数263床)、61年病床数275床
1959	人間ドック開始
1965	特定医療法人 河北総合病院(職員数262名、病床数310床)
1971	70年383床(内結核病棟28床)、人工透析室運営開始、付属高等看護学院開設(22名)
1973	河北恵文逝去 南部鎮雄が第3代理事長に就任
1974	377床(内結核病棟28床)、75年結核病棟閉鎖のため病床数357床、76年352床
1981	往診をシステム化した在宅患者サービス(T.H.H.S)を開始
1982	広報誌「かわびたる」創刊
1983	南部鎮雄逝去 平福一郎が第4代理事長に就任、医事業務をコンピュータ化
1986	杉並地域医療システムズ(SRHS)スタート
1988	河北博文が第5代理事長に就任、臨床研修病院の指定を受ける
1994	河北杉並訪問看護ステーション開設、在宅介護支援センター「ケア24阿佐谷」開所
1998	環境マネジメントシステムISO14001認証→KES(環境マネジメントシステム・スタンダード)step2へ継続(財)日本医療機能評価機構認定取得(河北総合病院)
2000	長野県蓼科に職員研修施設「N.K.Farm」開設
2001	河北リハビリテーション病院開設
2003	プライバシーマーク認証取得(2015年5月更新終了)
2004	介護老人保健施設シーダ・ウォーク開設
2005	医療法人初の社債発行、救急医療センター(ER)稼働
2006	地域医療支援病院承認(河北総合病院)、東京・杉並家庭医療学センター開設
2007	日本がん治療認定機構認定研修施設認定、東京都看護職員地域就業支援病院指定
2008	心臓・血管センター、脳卒中センター開設(河北総合病院)
2009	東京都脳卒中急性期医療機関認定、こども医療センター開設(河北総合病院)
2010	社会医療法人 河北医療財団に改組
2011	「心のケアセンター」始動、河北プラチナカード(産科)発行
2012	日本政策投資銀行「DBJビジョナリーホスピタル」認定
2013	河北救急車稼働開始、The Rehabilitation Hospital or the Pacific(ホノルル)と提携(河北リハビリテーション病院)
2014	東京・杉並家庭医療学センターから河北家庭医療学センターへ改称、まちづくり団体「阿佐ヶ谷駅北東地区を考える会」設立
2016	環境MGMT委員会「環境人づくり企業大賞2015」環境大臣賞受賞、医療法人財団 天翁会と統合合併
2017	看護師に係る特定行為研修開始(河北総合病院)、総務省「クラウド型EHR高度化事業」に参画
2018	河北新透析クリニック開設
2019	河北ファミリークリニック南阿佐谷開設
2020	新型コロナウイルス感染症患者受入対応(河北総合病院・分院)、杉並区長へ連絡し区立病院として支援するよう要請
2021-23	新型コロナウイルス感染症対応(河北総合病院・分院)、セントラルキッチン開設(杉並)、標榜科目38科へ変更(河北総合病院) 河北総合病院移転建設工事および駐車場建設工事着工
2024	がん診療センター、呼吸器疾患センターの開設(河北総合病院)



第1代理事長 河北真太郎



1929年 河北病院外観



第2代理事長 河北恵文



1957年 河北病院外観



1962年 外来廊下



第3代理事長 南部鎮雄



第4代理事長 平福一郎



第5代理事長 河北博文



## 創立100周年へ 地域とともに歩む河北総合病院 - 新しい日本の医療モデルへ -

社会医療法人 河北医療財団 理事長 かわきた ひろふみ 河北 博文

河北総合病院は1928年5月、創設者・河北眞太郎により、ここ阿佐ヶ谷の地に「河北病院」として開院いたしました。当初は内科・小児科の30床でのスタートでしたが、当時深刻な国民病といわれていた結核への対応をはじめ、地域の医療ニーズに応える形で診療科を拡充し、中央線沿線の中核病院としての歩みを進めてまいりました。

その後、幸いにも太平洋戦争の戦禍を免れ、1945年に河北恵文が海軍より復員し、大学第一内科を経て当院に加わりました。1950年には医療法の医療法人制度制定に合わせ医療法人財団となり、地域の皆さまに支えられながら、社会の近代化にともなって医療の近代化を進め、総合病院となりました。

1948年には民間病院として初めてインターンを引き受け、医師の教育を始め、臨床研修病院となり今に至っています。1971年には看護学校を開設し、医療人材の育成にも尽力してまいりました。1982年、スリッパを揃えることから始めた職員研修は、2000年以降は蓼科の研修施設「N.K.Farm」にて、馬との非言語コミュニケー

ションを通じた“心のケア”を学ぶ取り組みもおこなってきました。そして、河北家庭医療学センターを始めたのは2006年です。

2020年3月には、杉並区と連携し、区立病院の役割を担うべく、新型コロナウイルス感染症の診療に臨みました。

2025年6月5日、新病院の竣工を祝い、新たなステージへと歩みを進めます。2028年には創立100周年を迎える節目となりますが、私たちはその先の未来に向けて、医療のあり方そのものを見直し、さらに進化させていく所存です。

今後の医療は、

- 集学的 (多専門職種が連携し一人の患者を診る)
- 重層的 (層を重ねる診療)
- 地域内完結 (住み慣れた地域で完結する医療)
- 全体最適 (患者を取り巻くすべてを最適化)

といった考え方のもと「人を診る医療」を推めていきたいと考え、「その人らしく生きることを支える医療」に



2025年7月1日 河北総合病院移転開院

一層取り組んで参ります。その人らしく生きる医療の最期に「その人らしく亡くなる」ことも含みます。

私たちは、河北医療財団全体として、単に病気を治すのではなく、その人の生き方に寄り添う医療を実現したいと考えています。

また、医療に大切なことは、身体的なことだけではなく現代社会においてとても大切な「心のケア」にも注力しており、当院では「心のケアセンター」があります。高度経済成長の結果でもあり、SNSでの人間のつながりなどに影響されている家族のあり方や友人との関係が変化しつつある今だからこそ、医療は“こころ”にも目を向けなければならないと考えています。

1986年に定めた普遍的理念「社会文化を背景とし 地球環境と調和した よりよい医療への挑戦」を基軸に、これからも職員一同、地域に根ざした誠実な医療を提供し続けてまいります。

今後とも、変わらぬご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



“あたたかく やさしく 人にも 地球にも”  
経営とは、“つなぐ” こと・・・  
人と社会をつなぐ医療

## 河北総合病院



地域医療支援病院、基幹型臨床研修病院  
住所：東京都杉並区阿佐谷北 1-6-1  
病床数：353 床 標榜科目：38 科

# Report 2024-2025

## 2024 総括

### 杉並事業部

2025年7月の新河北総合病院移転・開院に向け様々なチームを立ち上げ全職員一丸となった年度でした。2024年4月に新設されたベースアップ評価料を算定可能施設で早期に算定し、全職員の職員給与のベースアップを図り物価高騰への対応をおこないました。

収益については杉並事業部の施設によってはCOVID-19クラスター発生により一部制限をかけるなど感染症対応に追われる等ありましたが、杉並事業部全体としての収益は河北総合病院をはじめ、新病院移転に弾みをつけるべく2023年度以上の数値を上げることができました。

### 多摩事業部

事業推進にあたっては、3つの柱を重点目標に掲げました。まず「内部の力を高める」ため、職種を超えた教育体制を整えるべく、事業部全体の視点を入れ、多摩事業部教育委員会を設置。共通テーマによる教育や、良い取り組みの共有が可能になりました。次に「職員がワクワクする環境を創る」として、職員の平均年齢が高い背景もあり、若手を中心に健康経営を推進するタスクフォースを立ち上げ、組織の活性化と横のつながりを促進しました。最後に「地域と共に繁栄する組織をめざす」として、多摩市の新たな委託事業である第一層生活体制整備事業を受託し、多摩市全域を対象に生活支援を始めとする地域づくり事業を推進。今後も地域とともに成長する体制を強化していきます。

## 2025 基本方針

- 2025年度は歴史的に大きな節目の年度  
河北医療財団は、1928年創立以来、97年を迎えました。「社会文化を背景とし地球環境と調和したより良い医療への挑戦」という理念を掲げ、その時代時代の地域社会の要請に応えるべく活動してまいりました。2025年度は財団の最重要事業として取り組んできました「新病院への移転・開設」を実現する、歴史的に大きな節目の年度であります。
- 中核施設の新病院を中心として未来に向けての新たな一歩を踏み出す年度  
医療・介護をめぐる社会経済環境は、急激な速さで大きく変化しています。その変化する地域社会の要請に的確に対応し、杉並区を中心とした区西部地域、多摩市を中心とした南多摩地域の方々が安心して暮らせるように、未来に向かって持続可能な医療・介護を提供して地域の健康向上に寄与してまいります。

## 2025 重点施策（両事業部共通）

### 中期計画の策定と遂行

新病院開院後3年間の中期計画を策定する。経営業績面では新病院建設投資による高額な償却費負担を抱えるが、この投資効果を3か年で実現し、中期計画末（2028年3月）までに財団経常利益の黒字化を目標とします。2025年度は中期計画初年度として、その礎を築いていきます。

### 中期計画の基本方針

- 医療・介護の環境変化への対応  
医療計画および診療・介護報酬改定動向-《医療・介護提供施設の機能分化のさらなる深化と施設間の連携策の進展》-を踏まえて、地域（新病院半径5kmエリア、南多摩エリア）の医療・介護需要（特に増大する高齢者の需要）に各施設の機能の一段の向上と連携力を高めることにより応えてまいります。
- 経済環境変化への対応  
インフレ経済へ大きく転換する中、物価・人件費の高騰、円安の継続、雇用動向の変化を2024年度に築いた筋肉質な体制をベースに、新病院の投資効果や技術革新の続くDXの活用を進め、生産性の向上を図ることにより対処してまいります。
- 経営基盤の一層の強化
  - 施設系基盤の向上の実現/新病院建設は阿佐谷地区の施設系基盤の向上を大きな目標としています
    - 自然災害・感染症対策等のリスク対策向上
    - 分散した施設の集約化による患者利便性、療養環境の向上
    - 職員の働く環境（安全・安心・利便性・効率性）の整備
    - 医療機器の新規導入、更新による診療領域の拡大や診療設備力向上および検査機器の稼働時間の延長による検査対応力の向上等を実現する
  - 人間系（組織系）基盤のブラッシュアップ/新しい器にはそれにふさわしい充実した内容が求められます
    - 患者さんへは、患者さんと同じ目線に立った河北ならではの特徴ある診療の提供、怒のある医療・看護、接遇等のサービスの提供
    - 職員へは、そのキャリア形成に寄与する能力向上施策、適正な人事評価や労働条件の確保、ハラスメントのない明るい規律ある職場環境を提供し、優秀な人材の集う財団をめざす
    - 経営・組織力の側面では効率的な業務フロー、簡素でかつ有効な組織構造と適切な職務権限の付与をおこない、働く個々人の成果が経営成果に直結できる確固としたガバナンス（統治の仕組み）を構築する
- その他 インバウンドへの対応、自由診療の拡大等新規施策の検討

## 1 杉並事業部

### ■ 河北総合病院、河北サテライト クリニック

- 新病院への移転・立ち上げの円滑な実行  
5月15日清水建設よりの引き渡し、6月5日竣工式・内覧会、7月1日開院の計画に沿って、職員の総力を挙げてこの大作戦を実行。
- 新病院の基本方針の具現化
  - 救急強化（脳卒中センター、心臓血管疾患センター強化）
  - がん診療の強化（がん診療センター強化）
  - 外科系比率アップ・手術数の増加
  - 処置ある内科強化（循環器内科、消化器内科強化）
  - 総合内科の充実、外科診療のバックアップ 等

- (3) 施設力の革新に加え上述の診療力、サービス力のブラッシュアップを図る。
- (4) 開院後3年目の財団経常利益黒字化目標をにらんだ事業計画策定・遂行。
  - ①新病院投資効果を3か年で実現する計画とする
  - ②地域の医療ニーズの確に答え、353床の効率的な運用を実現する
  - ③費用面について、人件費水準は急性期黒字病院群をベンチマークし、生産性向上をめざし、緩むことのない筋肉質な体質を堅持する。物価高に直面する委託を含む購買業務については2024年度に引き続き、多くの事例や職員の知恵を結集して対処していく

#### ■ 各施設/河北リハビリテーション病院、河北透析クリニック、河北ファミリークリニック南阿佐谷、河北健診クリニック、シーダ・ウォーク、PFI事業・地域ケア事業・給食事業

- (1) 既述の医療・介護の環境変化を踏まて、各施設の役割機能に応じた課題設定をおこない、3か年計画の中で変化に耐えうる強靱な体制を構築する。2025年度はその確実な一歩を踏み出す。
- (2) 施設別の特記点として
  - ・新病院9階へ移転する河北健診クリニックについては2026年度以降の飛躍に向け、確りと準備をおこない円滑な移転をめざす
  - ・河北ファミリークリニック南阿佐谷においては高齢者の増大にともなう在宅医療ニーズの伸びに的確に答え、成長路線をしっかりと築く
  - ・収益力に課題を抱える施設については、課題を明確化してその解決策を急ぐ

## 2 多摩事業部

- (1) 地域ニーズを探求し応える  
地域の特性を理解し、そこで暮らす高齢者が抱えている課題を探求し、解決に向けて知恵を絞る。
  - ①地域に向き、地域ニーズを探求する
  - ②地域ニーズに徹底的に応える
  - ③地域住民の複合的課題に対応できるトータルヘルスケアの提供
- (2) 在宅医療の推進とそれを支える事業所の機能強化  
ASN(あいセーフティネット)がこれまで推進してきた在宅医療は、今後益々地域に求められる。今後もASNのネットワークの強みを生かし、一枚岩となり在宅医療を推進し、よりよいサービスを提供していく。
  - ①ASN総合力の強化
  - ②サービスの価値を高める
  - ③生産性の向上
- (3) ワークエンゲージメントを高める(ワクワクする業務環境)  
職員一人ひとりが常に新しいことを学び、職場では活発な意見交換をおこない、ワクワクしながら働くことができるよう職員とともにその環境を創り上げていく。
  - ①人的資本経営の推進
  - ②柔軟な働き方の推進
  - ③誰もが安心して発言や行動ができる職場環境作り(職場の心理的安全性作り)

## 杉並事業部事業計画

### 1 河北総合病院、河北サテライト クリニック

新病院の開院を見据え、高度・急性期医療を担う地域の中核病院として安全・安心で質の高い医療の提供と経営の効率化・収支改善等に取り組み持続可能な病院経営を図る。

- (1) 高度・急性期医療等の充実
  - ①地域医療支援病院としての役割を果たすため、医療提供体制の充実を図り、より質の高い医療を提供する
  - ②前方および後方連携双方を強力に推進し、「紹介率・逆紹介率向上」、「在院日数短縮」および「病床稼働率安定化」を図り、「地域完結型の医療」を提供する
- (2) がん診療体制の構築
  - ①「質の高いがん医療」を提供することをめざして、包括的ながん医療(手術、化学療法、放射線治療等)の提供をおこない、地域完結型がん治療提供体制の構築を図る
- (3) 地域に根差した安心・安全の医療提供
  - ①安全で安心できる質の高い医療を提供するため、医療事故などの情報収集と分析をおこない、医療事故の予防および再発防止に取り組み医療安全対策の推進と強化を図る
  - ②病院ホームページを充実させ、地域の医療関係者のみならず、地域住民に対してもわかりやすい情報提供をおこなう
  - ③安全で適切な医療の提供を定常化し、高度の医療安全の確保を図るため医療機能評価を受審し、継続的な業務改善活動を推進するなどして質の高い医療の向上を図る
- (4) 職員のやりがいの向上、そして働く幸せを感じる職場をめざす
  - ①職員が健康的に働き続けることができるよう、タスク・シフティング/シェアリングやICT等の利活用等を積極的に取り入れ、労働生産性の向上に取り組み働き方・仕事の進め方改革をより一層推進する
  - ②職員が最大限に能力を発揮できるよう、人材教育・育成の強化をおこなう
  - ③患者の視点に立ったきめ細やかな医療及びサービスを提供するため接遇教育を強化する
- (5) 非常時に備えた病院づくり
  - ①第8次医療計画に準じて、COVID-19感染症を含む「新興感染症等にも対応すべく」、平時からの取り組みと感染拡大時の体制や対応マニュアルを強化し備える
  - ②災害医療の拠点としての責務を果たすため、災害対策についてセンター全体として共有・浸透や対応能力の向上を図るため定期的かつ現実に即した訓練等をおこなう

# Report 2024-2025

## (6) 安定した経営基盤の確立

- ①適正な収益を確保するため、急性期医療、がん医療、救急医療の機能を強化して、病床稼働率や入院診療単価をはじめとする各種稼働指標の底上げをする
- ②職種間の連携による診療報酬や加算の取得と施設基準を維持するため適切に管理をする(新基準、加算取得、上位基準の取り組み)

## 2 河北リハビリテーション病院

医療、介護、福祉をつなぐ地域完結型リハビリテーション医療体制を確立する。

- (1) 近隣のリハビリテーションニーズに応じて回復期リハビリテーション入院患者層を開拓し、各財団施設との連携を強化する。
- (2) 他回復期リハビリテーション病院とも連携の上、回復期リハビリテーション医療の質向上に貢献する。
- (3) 外来診療の拡充により退院後の生活や社会活動の再開支援の充実を図る。
- (4) 継続的な人材確保と就労定着を図るために職場環境の整備と教育体制の充実を図る。
- (5) 専門医、認定看護師、認定療法士等の資格取得を促進する。専門技能を持つ職員がその専門性を発揮できる体制を確立する。
- (6) 地域特性を把握し地域の健康増進、疾病予防に関する情報発信を継続する。

## 3 シーダ・ウォーク

質の高いリハビリテーションの提供を重点とし、在宅超強化型老健として在宅復帰支援、在宅療養支援を引き続き強化する。超強化型老健を維持し、ロングステイ・ショートステイ・通所リハビリ(デイケア)・訪問リハビリを有機的に連動させて、住み慣れた地域での生活をサポートし利用者ニーズに対応していく。また、安定的に利益を生み出せる施設をめざす。

- (1) 新病院開院後も後方連携施設として患者を積極的に受入れ、医療・看護・介護の各方面において受入れ体制を強化する。
- (2) 他の急性期・回復期病院との連絡と受入れも強化し、ロングステイの利用者増を図る。
- (3) リハビリテーションや生活環境整備を通じて在宅復帰を支援する。
- (4) 通所リハビリ・ショートステイ・ロングステイのシームレスな運用により在宅生活を支援し、看取りをも視野に入れた長期的介護支援をおこなう。
- (5) 居宅介護支援事業所や訪問診療・訪問看護機関との連携を強化する。
- (6) 利用者・家族ニーズに応えた使われやすい介護施設をめざす。
- (7) 人材育成と教育の充実を図り、人が育つ組織をめざし、人材の確保に取り組む。
- (8) ICTとDXの導入・活用により業務の効率化を図る。

## 4 河北透析クリニック

地域の透析患者が自分らしい「幸せな生」をまっとうできるようにする。同時にスタッフも「幸せ」を感じられる職場をめざす。

- (1) 患者教育・ケアの継続。フレイルや合併症を予防し、通院継続と入院数の減少を目標とする。
- (2) 職員教育の継続。自発的な行動による医療の質向上と、より働き甲斐ある職場環境づくりをめざす。
- (3) 業務改善の継続。安全管理強化と業務効率化、専有業務の向上、患者ケア時間の増加をめざす。
- (4) 杉並区の災害医療対策継続。災害時透析医療ネットワーク幹事施設として啓発、連携強化を図る。

## 5 河北健診クリニック

- (1) 未病を発見し健康寿命を延ばす。
  - ・すべての受診者に価値ある健診を提供
  - ・多様な受診者に個別化した健診をすすめる
  - ・プロセス指標を活用したエビデンスに基づいて健診をすすめる
  - ・専門医へ紹介して経過を追跡する
  - ・検査を安全に実施して見落としを排除することをめざす
- (2) 新病院での健診事業を破綻なく立ち上げ、経営の健全化、安定化をめざす。
- (3) 人間ドックとして医学的に質の高い健診を提供して、高い再受診率を獲得する。
- (4) これまで通り、テーラーメイドの健診を受診者に提供し、満足できる健診をおこなう。
- (5) 人間ドックを主とし、成人健診は従として、アメニティを重視した健診施設を運営する。

## 6 河北ファミリークリニック南阿佐谷

地域の高齢化にともなう医療ニーズの変化に適応し、地域における包括的な医療提供体制構築の一部として地域住民の健康向上に寄与するとともに、主に在宅部門の事業拡大によって財団の経営基盤強化への貢献を果たします。家庭医療学センターとしては、事業の効率化(DX化、タスクシフト)、地域づくりへの参画による地域連携体制の構築、職員に向けた家庭医療の教育・実践システムの整備など、各方面での整備・深化を進め、3か年計画に謳う新拠点展開への強固な土台づくりを進めます。

- (1) 在宅部門
  - ①事業拡大: 引き続き事業拡大をめざし、センターとの連携を強化し、効率的な診療を提供できるよう、ハード面・ソフト面ともにさらなる整備を進める

- ②DX化・AI活用: 在宅部門のDX化・AI活用を推進し、業務の効率化と質の向上を図る
- (2) 外来部門
  - ①地域包括ケアの提供: 地域のプライマリケア診療所として、地域住民の健康向上に寄与しつつ、患者数増・増収を図る
  - ②地域連携の強化: 地域健康教室や医師会活動等を通じ、地域の医療・介護・社会資源との連携を深める
- (3) 教育の充実
  - ①全職種への教育推進: 家庭医療の教育を全職種に対して推進し、質の高い家庭医療を実践・提供するシステムを強化する
  - ②“家庭医療”教育・実践システムの構築: 全職種において家庭医療の教育を推し、施設全体が質の高い家庭医療を実践・提供するシステムを構築するためのベースづくりをおこなう
  - ③専門職の支援: タスクシフト・タスクシェアを推進し、専門職がその専門性を発揮できる環境を整える
- (4) 新拠点の整備
  - ①質の高い家庭医療の提供: 新拠点開設時には、南阿佐谷と同様の質の高い家庭医療を提供できるよう教育・実践システムを整備する
  - ②医療・看護・介護が三位一体となった財団内連携体制の構築
  - ③地域づくりの推進: 拠点展開を意識した地域づくりを推進し、地域連携体制を構築する
- (5) 経営基盤の強化
  - ①新病院設立への寄与: 新病院設立に向けた経営基盤の強化を継続し、事業拡大と業務効率化を図る

## 多摩事業部事業計画

### 1 天本病院

- (1) 地域ニーズを探求し応える
  - ①地域に出向き、地域ニーズを探求する
    - ・回復リハビリテーション病棟過剰地域に対しての差別化を図る(視察をおこない自院の強みを分析)
  - ②地域のニーズに徹底的に応える
    - ・病床機能の再検討(認知症の受入れ、バックベッド機能のあり方など)
    - ・地域連携のさらなる強化(継続的に紹介をいただける仕組み作り)
    - ・地域住民や関係機関との連携・つながりを大切にし、地域の期待に応え信頼される病院運営
    - ・全病床92.5%(2階90.0%(42.3床)/3階:92.9%(44.6床)/4階:97.1%(46.6床)/5階:89.0%(32.0床))を達成する
    - ・感染症拡大を最小限にとどめるため、迅速な対応と職員教育をおこなう
    - ・退院支援の見える化をおこない、ベッド状況全体が把握できるシステム作り(ベッドコントロールに地域連携室だけではなく、スタッフ全員が理解できるシステムや入退院の波を一律にするなど)
    - ・認知症対策・フレイル予防の推進・地域の健幸寿命延伸に向けた取り組みを継続する
    - ・地域活動への継続した参画(各協議会、認知症初期集中支援、匠カフェ、認サボなど)
    - ・家族会の設立・運営の検討
  - ③地域住民の複合的課題に対応できるトータルヘルスケアの提供
    - ・ASN機能をフル活用した患者・家族支援(社会的処方) ・ACP(意思決定支援)の推進を継続する
- (2) 在宅医療推進とそれを支える事業所の機能強化
  - 1)ASN 総合力の強化
    - ①地域戦略(在宅医療)の展開…バックベッド機能の更なる強化(土曜日受入れ等)/外来にて予約なしでも受入れ、ハブ機能を発揮する
    - ②地域に必要な事業の見直しと検討…八王子東部地域への更なるアプローチ(アウトリーチ活動含む)
    - ③ASN シナジーの強化…三位一体の後方支援の役割を全うする
    - ④バックベッド機能の強化 24 時間 365 日対応の推進…まずは診る。そして適切な機関へつなぐハブ機能の確立/24 時間 365 日受入れ体制の具体的計画立案(スタッフへの説明、体制作りなど)
  - 2)サービスの価値を高める
    - ①利用者ファースト(意思決定支援の推進)の徹底…カンファレンスや退院支援等の質向上や、家族会の設立・運営等の検討
    - ②自らの質を高め、地域へ還元する…積極的なアウトリーチ活動の推進

### 2 あい介護老人保健施設

- (1) 地域での生活を支える老健をめざし安定経営を図る
 

2025年度は、あい介護老人保健施設におけるご利用者のよりよい「生活」への支援をおこなうため、サービスの質向上をはじめ、業務効率・負担軽減をし、利用者ファーストを掲げ、利用者に関わる時間の体制構築をおこなう。また、地域ニーズの把握において、新たな視点で地域の声を聞く体制整備をし、実行する。地域に適応した柔軟なサービスの提供をめざすべく、今後のあい介護老人保健施設の運営の検討を図る。2025年度の目標達成に向けさらに職員一丸となって取り組むことや確かな情報共有をおこなう必要がある。

  - 目標稼働: 入所93.5%(140.3床/日)・通所リハ91.0%(平均45.5人/日)
  - ①利用者満足度調査実施。調査資料を基に施設の役割を再評価し運用検討
  - ②地域参加型イベントの再開や施設スペースの提供等地域貢献にも寄与
  - ③面会制限撤廃の検討および施設内外の企画・行事のさらなる展開

# Report 2024-2025

④認知症専門ユニットの一般棟変更にもなる柔軟な受け入れをし、個室・2床室の有効的活用や療養ユニット2西の活用方法の再評価と構築

## (2) ASNのハブ機能を担うトータルケアサポートの実現

介護老人保健施設の役割は「大規模多機能施設」である。あい介護老人保健施設は介護・医療のニーズに寄り添った利用者に対しての生活全般にわたる支援をめざし、様々な側面から包括的なサポートを提供することを目的とする。地域ニーズに応じたサービスを柔軟に提供するために、常にサービスの見直しや改善をおこなう姿勢が重要と考え、地域の特性や利用者の状況に応じたトータルケアサポートを実現することで、あい介護老人保健施設は地域の介護サービスのハブ機能を効果的に果たし「地域で選ばれる施設」をめざす。

- ①地域の困りケースへの緊急対応の体制整備 (ASN緊急ケースのベッド確保として1床空きベッド設置)
- ②ASNにおける同職種間の連携を推進し、ASNグループ完結型をめざす
- ③地域ニーズに基づいたサービスモデルを構築。訪問リハビリテーションの再構築
- ④連携にかかる情報共有の方法検討と構築 (連携調整を図る)

## (3) 職員エンゲージメントの向上

前年度に引き続き、各部署・職種・施設の中で働く人たちが互いに意識し会話できる環境を整える。あい介護老人保健施設らしさの一つである「私たちは考え思いを実現するために行動できる」風土を再構築する。利用者に関われる時間を増やすことを目的とし、全職員が「新しい価値を生み出す力」を養うことをめざす。そのため、各種取り組みが必要である。

- ①教育とキャリア支援、職員の業務の意義を理解するためのプログラム構築 (利用者の声や職員満足度調査を反映した研修などを実施)
- ②各種会議・委員会の見直し・PJ発足し機能活性化と全職員研修の機会継続実施
- ③ICT活用による業務効率化 (介護システム入替や介護機器、見守り機器導入の検討)
- ④アンラーニングの表面化 (業務やサービスをゼロベースで見直し、利用者に寄り添うケアの実現と本質をめざす)
- ⑤施設内職員満足度調査実施 (問題点やニーズを把握。組織文化や価値観の理解を深めよりよい職場を築くための指針を得られるよう努める)
- ⑥職場環境整備や施設設備整備 (職員休憩スペースの確保・居室の補修工事・各種備品器具他の更新・新規購入など)

## 3 在宅医療部

新拠点開設に向けた計画的な人員増を図ると同時に現拠点での規模 (患者数) を最大限まで増やし、地域の在宅医療ニーズに応える。収益計画は過去最高の約17億円をめざす。

### (1) 地域ニーズを探求し応える

在宅医療を必要としている方の期待に応えることができるよう体制を強化し、新たな拠点開設に向けた準備をおこなう。また、地域との連携を強化し、地域ニーズを掘り起こし対応していく。

- ①新たな在宅医療拠点開設に向けた計画的な人員確保
  - ・3~4年後に新たな地域へASN在宅医療拠点を展開できるように、三位一体の人材確保を計画的におこなう
  - ・新拠点開設に向けたマーケティング等準備をおこなう (検討チームの結成等)
- ②地域ニーズの掘り起こし (情報収集) と対応の実行
  - ・他医療機関・団体の活動へ積極的に参加するなど地域に積極的に向き合い交流を図る
  - ・積極的な渉外活動によって、地域から求められていることを収集し、事業所としての対応・改善を実行する
  - ・事業所都合ではなく地域の期待に応える行動を実践していく。そのため、自事業所では対応できない場合はASN内を第一選択とする
  - ・ASNの柱である認知症対応施策、フレイル予防を促進する

### (2) 質の高い在宅医療と差別化の実行

在宅医療の深化に注力し、他法人・事業所との差別化を図る。また、丁寧な意思決定支援やグリーフケアを含めた在宅看取りを推進する。

- ①訪問診療・専門医療サービスの拡充
  - ・在宅輸血など新たなサービス領域の展開と体制整備
  - ・在宅医療部倫理検討チームを発足し、臨床現場における倫理的課題に在宅医療部として対応する
- ②3拠点ともに三位一体サービスの徹底および成功事例の蓄積
- ③既存拠点における定期的な三位一体カンファレンスの実施
- ④STにおける対応分野の拡大、障害分野・小児・AYA世代のがん治療・終末期支援等
- ⑤利用者ファースト (意思決定支援の推進) の徹底

### (3) ワークエンゲージメントを高める (職員がワクワクする環境)

ワークエンゲージメントを高めるために学ぶこと・成長を実感できるよう体制を整備する。また、業務効率を促進し、余裕のある業務設計をおこなう。

- ①人材育成と教育体制の拡充
  - ・自己研鑽制度を活用した専門性強化の推進
  - ・他施設見学や学会発表・参加を促進し、医療知識や技術の向上を図る
  - ・実習生の受入れ推進、各職種の教育体制構築
  - ・各種研修施設認定の取得
- ②アンラーニングの実施
  - 古くから慣習としておこなっている業務等前提を疑い本来業務に集中する環境を自ら考え実行する。
- ③柔軟な働き方の促進および職員が長く働ける環境整備 (ズレ勤務の活用、残業の削減等)
- ④職員間の風通しのよいコミュニケーションを実現と心理的安全性の高い職場環境の構築 (あいさつ運動の促進、コミュニケーションの機会構築)
- ⑤生産性向上に向けたDX推進による余白の創出
- ⑥在宅医療部共通部門の統合による効率化の検討 (共通相談窓口、渉外部門・総務課・教育部門の設置等)

## 4 地域包括ケア部

(1) 「地域ニーズを探求し応える」「在宅医療推進とそれを支える事業所の機能強化」

- 地域に出向き地域ニーズを探求する
- 地域ニーズに徹底的に応える
- ASN総合力の強化
- サービスの価値を高める(利用者ファーストの徹底・自らの質を高め目標設定し還元する・生産性の向上)

私たちのサービスが多摩市、関係機関の対象となる利用者に浸透するように取り組む必要がある。住み慣れた多摩市で安心して暮らし続けられるために、一人ひとりの生活場を想像し支えるためにASNを意識し一体的に取り組む必要がある。この先も継続して私たちがサービスを提供するために、各事業所が自立運営をしていることが求められる。

- ①地域と関わる機会を通して私たちのサービスの理解を進める
  - ・運営推進会議の活性化
  - ・地域とのコミュニケーションの機会を逃さない
- ②サービス利用調整室の進化と相談機能の深化
  - ・稼働および安定運営のために新規相談を増やし適正サービスにつなげる
  - ・365日相談受付、ワンストップチャネルの検討と試行
  - ・相談援助および計画書作成の質の向上
- ③各サービスが自立した運営が可能となる
  - ・事業計画を達成する(人件費割合70%前半等)
  - ・稼働に合わせた柔軟な運用が可能となる
- ④専門性を活かした人材育成と教育を進める
  - ・専門性を活かせる組織作り(看多機看護師・喀痰吸引研修修了職員の検討と獲得等)

(2) 「ワークエンゲージメントを高める(職員がワクワクする環境)」

- 人的資本経営の推進
- 柔軟な働き方の推進
- 職場の心理的安全性作り

私たちは、サービスについて考え検討し「サービスの目指す方向性や姿」をまとめ明確にする必要がある。それを職員一人ひとりが理解し、組織貢献したいと思えるチームをめざしたい。そのためには、その計画達成に向けて自発的に貢献しようとする意識が持てる取り組みが必要であり、互いを認め合い、個々に意見をもち良好なコミュニケーションが取れること。私たちが働きやすい職場を構築し、職員のキャリア形成や資格取得、学びを応援する風土であること。そして、役職者が率先して働き方を改革していく。一方で、欠員や稼働状況に対して柔軟な対応ができるように意識改革をおこなうことも重要なポイントである。

- ①職員のコミュニケーションの場の機会を作る
  - ・会議等の可視化
  - ・検討や決定等に参画する風土づくり
- ②健康経営の推進
  - ・役職者自らアンラーニングする姿勢を持つ
  - ・各サービスのめざす方向性や姿を具現化する
- ③研修・資格取得支援

## 5 多摩本部

急速に進む社会環境の変化に適合できるように組織力を高めていく必要がある。そのために中核となる人的資本経営、アンラーニング、DX等を実施しながら生産性を向上させ、ワークエンゲージメントを高めるような施策を企画・展開していく。また、組織の基盤となるガバナンス強化として安全感染管理体制および業務内部監査を継続して実施していく。職場マネジメントとしては本部内勉強会を始め、誰もが安心して発言や行動ができる職場環境作り(職場の心理的安全性作り)を推進していく。

(1) 堅実経営に向けた経営企画

- ①事業運営のボトルネックを分析し、事業所と共に解消する仕組みと支援

(2) 人的資本経営を実現するための人事戦略の立案と実行

- ①医師人事評価制度の設計および構築
- ②管理監督者向け研修の拡充(マネジメントスキル、次世代リーダー研修等)
- ③教育体系の強化(教育委員会、職種単位の教育体制の再構築、学習環境の整備(Eラーニングの活用))
- ④雇用が創出される世代へのアプローチ  
(元気高齢者雇用、障害者雇用、働きやすい福祉の職場宣言事業所更新、若手人材獲得に向けた夏のインターンシップの導入等)
- ⑤柔軟な働き方の推進

(3) ワークエンゲージメント向上施策の検討および推進

- ①あいさつ運動・タスクフォース等を通じた組織活性化
- ②QC活動および事例研究発表大会の融合を検討し効率的な業務改善活動に展開を図る
- ③職員の相互理解、パーパスの共有に役立つ社内報の活用等

(4) 既存業務の前提を疑う本質的なアンラーニングをもとにした生産性の向上

- ①電子ワークフローの構築および運用
- ②人事基幹システム統合に向けた検証(杉並事業部とのシステム統合に向けた検証、事業所管理者が活用できるシステム導入の検討)
- ③人事業務標準化とアンラーニングに向けた取組(マニュアルPJ/2年目)

(5) 広報戦略の実行(ブランディング戦略、インナーブランディング、地域連携・懇談会の企画検討)

- ①現場の生産性向上や利用者獲得に役立つ新規ツールの作成
- ②新規イベントの開催(市民向け、専門職向け)
- ③地域ニーズに応える施策の実行支援

(6) 医療・介護の質向上に向けた施策支援(安全感染管理、業務内部監査等)

- ①セーフマスターの活用促進をもとにした事例収集および分析・対策の強化
- ②各種マニュアル作成および安全感染ラウンドの継続による安全感染対策の推進

(7) 認知症対策、フレイル予防の推進等地域の健康寿命延伸に向けた取り組み強化

- ASNリハビリテーションセンターはこれまでのフレイル予防活動を完成させる年とし、地域課題を発掘し、地域リハビリテーションの推進およびASNの新たなサービス展開に寄与する。

- 河北総合病院「病院救急車」クラウドファンディング(杉並事業部)
- 「地域づくり推進室」の設置(多摩事業部)
- 「病院キッズ体験イベント」開催(杉並事業部)
- 第24回市民公開講座「医療機関が伝えたい本当に必要な終活」(多摩事業部)
- 河北総合病院移転工事(杉並事業部)

## 1 河北総合病院「病院救急車」クラウドファンディングにチャレンジ (杉並事業部)

劣化が進んでいた病院救急車の買い替えのため、「READYFOR」にてクラウドファンディングにチャレンジいたしました。

チャレンジ1週間ほどで、第一目標金額1,000万円を達成し、2,000万円を第二目標金額として掲げました。終了期間の5月31日(金)までに、332名の皆さまから貴重なご支援と激励のメッセージ、また感謝のお言葉等を頂戴しました。ご支援いただいた金額は2,308万円(累計)となり、NEXT GOAL(第二目標)の2,000万円の目標金額を大きく上回る結果となりました。

【クラウドファンディングプロジェクト 概要】

プロジェクトページ(READYFOR):

<https://readyfor.jp/projects/kawakita-2024>

支援募集期間：4月15日(月)10:00～5月31日(金)23:00

第一目標金額：1,000万円 第二目標金額：2,000万円

ご支援総金額：23,087,000円



## 2 「地域づくり推進室」の設置 (多摩事業部)

2024年度より「多摩市第一層生活支援体制整備事業」を受託し、既存の「多摩市介護予防・フレイル予防推進員」と共に「地域づくり推進室」を組織しました。

この事業では、多摩市・医療機関・介護サービス・NPO・民間企業・ボランティアなどと連携し、高齢者の生活支援体制の強化と社会参加の促進をめざします。1年目の2024年度は、地域ニーズの把握や情報の見える化などに取り組みました。

また、「介護予防・フレイル予防推進員」は、地域分析をもとに行政や住民と連携し、データ分析や予防リーダーの育成、地域リハ支援などを実施しました。今後も地域に根ざした介護予防の推進を図っていきます。



## 3 河北総合病院移転建設工事 (杉並事業部)

河北総合病院の老朽化は、長年にわたる重要課題でしたが、2023年2月より移転建設工事が始まり、2025年7月の開院をめざし、その準備にかけた1年でした。

2024年4月は2階フロアまでの鉄骨が概ね組みあがり、10月には、最上階の9階までができ、12月には『河北総合病院』のサインが見えるようになりました。2025年2月下旬には、全てのブルーシートが撤去され、外観の全貌が明らかになりました。建物ができあがっていく様子の動画を、ぜひ、ご覧ください。



工事期間  
(2023年1月～  
2025年5月)  
の様子はこちら



※撮影：エスエス東京

# 地域の皆さまとともに

地域の皆さまが住み慣れた場所で安心して生活ができるように、医療などを通じて皆さまの健康を守り、当財団職員と地域の皆さまが手と手を取り合って、よりよい地域社会を築いていくことをめざしております。

2024年度は河北総合病院移転工事関連や新たにがんコラムを配信し、SNSの配信を強化した年度でありました。

## セミナー・講座

### 「河北健康教室」(杉並事業部)

WEB配信数:6回 リアル開催数:11回

1985年より患者さんや地域の方向けにセミナーをはじめ、2011年からは「河北健康教室」として実施してまいりました。



WEB配信数は、ショート動画とリアル開催録画を含む

### 杉並第一小学校主催「命の授業」 (杉並事業部)

開催数:4回

杉並第一小学校より学年別の合同授業保護者参観の講師として、地域の病院である「河北総合病院」へ2015年より講師依頼をいただいております。様々な形の「命」を学ぶ授業として、医師、看護師、療法士を派遣しており、年間4回開催しております。



### からきだ匠カフェ(認知症カフェ) (多摩事業部)

開催数:12回(毎月第4水曜)

多摩市の唐木田駅前のカフェを会場に毎月開催している認知症カフェも7年目を迎えました。月替わりで様々なゲストを迎え、認知症への理解を深める勉強会や、介護者の方のリフレッシュを目的とした企画などをお届けしています。満員の回も多く好評をいただいております。



## 主催イベント

### 「病院キッズ体験イベント」(杉並事業部)

小学校高学年を対象にした「夏休み病院キッズ体験」を開催。抽選倍率が5倍に迫るほどの人気イベント。内視鏡技師、薬剤師などの協力のもと、お仕事について学びながら、模擬体験をしていただきました。



### 第24回市民公開講座(多摩事業部)

「医療機関が伝えたい本当に必要な終活」をテーマに、パルテノン多摩でイベントを開催。約200名が参加し、天本病院や在宅医療の医師をはじめ、地域包括支援センターの看護師、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャーなどが登壇しました。介護予防や医療の選択肢、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)に関する情報を多職種の視点からわかりやすく共有。

多摩事業部は、これからも高齢期を安心して迎えられる地域づくりをめざし、サービスの充実と質の向上を図っていきます。



### 地域とつながる「虹の救急車」 — お披露目会のご案内 (杉並事業部)

河北総合病院 救急車更新のためクラウドファンディングを実施し、2025年3月にご希望の方へ、お披露目会のご案内をお送りしました。

#### 車輛搭載機器/装備の充実

視認性・安全性向上:大型散光式警光灯装備/フロントLED赤色点滅灯を追加/バックドア上部赤色点滅灯を追加/両サイドルーフに補助赤色警光灯付LEDを追加

搬送環境の向上:磁力式防振ベッド/室内灯LED調光および患者灯調光/左サイド、リアサイドに調光フィルム貼付

感染対策向上:運転室と患者室の隔壁を追加/オゾンUVエアクリア搭載

医療器材:伝送可能12誘導心電図モニターと除細動器装備/人工呼吸器スタンド



## イベント協賛

### 「すぎなみフェスタ2024」(杉並事業部)

HP協賛と11月10日(日)に河北救急車の展示をおこないました。あいにくの天気の中、多くの方が参加してくださいました。



日程:11月9日(土)・10日(日)  
会場:桃井原っぱ公園

# 地域医療連携

急性期病院である河北総合病院は、地域のかかりつけ医（診療所・病院など）と連携し、よりよい地域医療を提供する「地域医療支援病院」として、2006年に東京都知事より承認を受けております。

## 杉並医療連携 WEB/セミナー 開催数：14回 視聴者数：371名

開催日	研修会名	参加者数
2024年5月	循環器内科 第45回杉並心臓病カンファランス	18
2024年6月	杉並内科医会学術講演会	37
	中野・杉並 脳卒中Symposium	18
2024年7月	杉並 Severe AsthmaSymposium	12
2024年8月	循環器内科 第46回杉並心臓病カンファランス	14
2024年9月	医師・看護師・薬剤師のための 在宅ケアセミナー	15
	第1回 がん医療連携会	71
	眼科連携会	30

開催日	研修会名	参加者数
2024年10月	外来感染対策向上加算に係る カンファレンス・訓練	70
	世界脳卒中デー降圧治療を考える	10
2024年11月	CKD合併症セミナー	22
	腎臓内科 杉並CKD診療を学ぶ会	8
2024年12月	循環器内科 第47回杉並心臓病カンファランス	12
2025年3月	第2回 がん医療連携会	44
	杉並区・練馬区 泌尿器科連携の会	20

## 河北総合病院 病診連携会

開催日	内容	参加者数
2024年5月	【消化器疾患センター】 ・消化器内科『当院内視鏡検査体制について ~紹介からESDにつながった事例紹介~』 ・消化器外科『消化器疾患センターがん診療体制強化に向けて』 ・特別講演『消化器がん領域における最新の治療動向』	座・高円寺ホール2 46
2024年11月	【病診連携会】 ・『診療科紹介』がん診療センター/放射線腫瘍科/呼吸器内科/産婦人科/糖尿病・内分泌代謝内科/眼科 ・『診療科イチ推し紹介』 ・『当院の医療連携について』 ・『新病院の概要ご報告』	吉祥寺エクセルホテル東急 158



2024年5月



2024年11月

# 環境へのおもいやり

河北医療財団は1990年、経営方針の重要項目のひとつに「地球環境保全」を打ち出し、1998年には病院としては初めてISO14001環境マネジメントシステム認証（2006年3月更新終了）を取得。2012年、医療業界では初の日本政策投資銀行の「DBJビジョナリーホスピタル」の評価認定を受けました。2015年、環境省主催「環境人づくり大賞2015」において、環境教育が職員全体の取り組みになっていることが評価され「環境大臣賞」（大企業の部）を受賞しました。2008年よりKES環境マネジメントシステムの認証を取得し継続的に環境活動を続けております。こうした活動が職員に定着していることを前提として、2024年でKES認証を終了し、日々の業務の中で環境活動を基本事項として取り組んでいくこととしました。遅れて環境活動を開始した多摩事業部も、引き続き環境活動計画を立て、環境データの取得および環境プロモーター活動を継続しております。

## Topics 2024

### ZEBorientedの認証+環境活動の相乗効果

2025年7月1日に開院する河北総合病院の新病院は、新病院の基本方針の一つに「地球環境に配慮した施設、設備、運営の推進」を掲げ、太陽の光や風などの自然エネルギーを最大限に利用し、建築自体のエネルギー負荷を低減すると共に、アクティブな高効率設備機器の導入徹底による負荷低減を実現することを建築計画に取り入れました。その結果、東京都内で初のZEBorientedの認証を受けるに至りました。

ZEBorientedの建物・設備による環境負荷軽減に、従来からの職員全体の環境活動を重ね合わせることで、より高いレベルで環境負荷軽減を実現できると想定しています。

## 私たちのゴミ分別とリサイクル

### 感染性廃棄物

- ・焼却・溶融処理を行う処理工場と契約しています。
- ・焼却熱は発電のエネルギーとして再利用されます。(サーマルリサイクル)
- ・焼却の過程で溶け出した金属は「アルミ」「スチール」に分別され、金属資源として再利用されます。(マテリアルリサイクル)
- ・焼却灰は溶融処理され、砂状の溶融スラグとして取り出され、道路の路盤材やブロック原料となります。(マテリアルリサイクル)

### プラスチック廃棄物

- ・河北総合病院から排出されたプラスチックごみは、取引事業者の中間処理工場で「フラフ燃料」に加工され、セメント工場に売却されて、化石燃料の代替エネルギーとして熱効率の高い燃料として利用されています。(エネルギーリサイクル)
- ・焼却灰はブロック原料として利用されています。(マテリアルリサイクル)
- ・取引事業者は、フラフ燃料の売却益から、様々なワクチンを購入し発展途上国に寄付をおこなっています。

### ビン・缶・ペットボトル

- ・空き缶・ペットボトルは自動販売機の回収事業者により、中間工場、缶は「アルミ」と「スチール」に分別され金属資源化されています。(マテリアルリサイクル)
- ・ペットボトルは、サントリーのペットボトル商品にPETtoPETのリサイクルがされています。

# 職員の教育・研修

財団では、「教育」すること、「人財開発」することの真の目的を明確にする作業から始め、一つの教育理念に辿り着きました。知識、技術、態度はもとより職員一人ひとりが充実していることが、結果的に患者さんおよび地域の方々にとっての信頼・安心につながっていくとの信念に基づいております。特に職員教育には力を入れており、研修を通じて組織人としての成長は当然ですが、『世に優れた医療人を送り出す』ことも当財団の大切な役割と思っております。

## 教育理念

自立した自己として職員が成長することを支援する

## 教育方針

社会的資産としての人材を育成する

1. 組織理念の浸透
2. 専門職としての質の向上  
(知識・技能・態度)
3. 自ら考え行動する個人の育成

## 2024年度 研修・委員会実績

### 杉並事業部

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
新入職員研修	1	137
スタッフ研修2	2	53
スタッフ研修3	2	50
初級監督職研修	2	34
中級監督職研修	3	51
上級監督職研修	1	21
管理職研修	1	21
主任研修	1	13
新任科課長研修	1	7
選抜研修II	8	10
新入職員フォローアップ研修	2	50
医療安全院内研究会	2	1,997
医療安全院内研究会(分院)	2	191
感染症講演会	2	1,761
感染症講演会(分院)	2	176
倫理委員会	4	40
高難度新規医療技術評価委員会	0	0
教育委員会	1	15
診療の質向上委員会	11	118
クリニカルパス委員会	10	184
医療安全管理委員会	12	231
医療安全管理委員会(分院)	12	92
プライバシー・ポリシー委員会	3	62
感染管理委員会	12	212
感染管理委員会(分院)	12	96
感染管理実行委員会	12	339
環境マネジメントシステム委員会	2	18
労働安全衛生委員会	12	15
臨床研修委員会	6	120
廃棄物適正処理委員会	0	0
医療ガス安全管理委員会・医療ガス安全管理委員会(分院)	0	0
保険請求委員会	12	360
適切なコーディングに関する委員会	4	32
適切なコーディングに関する委員会(分院)	4	15
薬事・医材委員会	11	210
薬事・医材委員会(分院)	11	74
カルテ等書式委員会	11	84
カルテ等書式委員会(分院)	11	55
治験審査等委員会	0	0
輸血療法委員会	6	50
輸血療法委員会(分院)	6	25
臨床検査システム委員会	6	50
臨床検査システム委員会(分院)	6	25
フードサービス委員会	10(内:電子会議1)	77
フードサービス委員会(分院)	10(内:電子会議1)	66
褥瘡対策委員会	11	222
褥瘡対策委員会(分院)	11	32
診療情報システム委員会	6	107
NS委員会	11	216
健康生活支援室運営委員会	0	0
化学療法委員会	6	103
化学療法委員会(分院)	6	34
画像運営委員会	電子会議12	348
医療放射線管理委員会	電子会議2	58
業務改善部会	11	198

### 河北家庭医療学センター

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
全体会～2023年度振り返りと2024年度目標の共有～	1	40
護身術セミナー(講師:杉並警察署)	1	30
自転車講習会(講師:杉並区)	1	20
グリーフケア勉強会(グループワーク)	4	50
AED講習会(講師:日本光電)	2	30
ACPボードゲーム体験(講師:おうちの診療所中野)	3	25
さすまた講習会(講師:杉並警察署)	2	30
事務課・医事課対象 LGBT勉強会	2	10
在宅デスクカンファ	1	15
在宅勉強会(①CADD Solis ②HOT ③NPPV ④NHF)	4	50

### 臨床研修医

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
初期研修医オリエンテーション(入職時)	1	11
専攻医オリエンテーション	1	14
採血実習	20	55
木曜講義	67	585
外部講師による講義(症例教育)	3	33
一次救命処置講習	1	11
二次救命処置講習	1	11
胸腔ドレーン・動脈採血実習	0	0
外傷総合研修	2	22
ICU講義	2	22
気管挿管実習	3	11
CVカテーテル研修	3	11
超音波実習	4	11
内科救急・ICLS講習会	2	10
アドバンス・ケア・プランニング	1	11
緩和ケア研修会(PEACE)	1	11

### 医療技術職

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
医薬品勉強会・臨時(薬剤部)	1	10
新規採用医薬品勉強会(薬剤部)	12	278
麻薬講習会(薬剤部)	1	1,122
薬剤部勉強会(薬剤部)	9	126
医療放射線講習会(画像診断科)	1	604
医療安全講習会:MRI(画像診断科)	1	319
医療安全講習会:職業被ばく・医療被ばく(画像診断科)	1	166
患者移乗研修(医療技術部)	1	6
採血実技研修(臨床検査科)	1	27
心電図判読および実技研修(臨床検査科)	9	316
臨床検査科勉強会(臨床検査科)	5	150
医療機器講習会 WEB配信(臨床工学科)	5	測定不可
医療機器実技講習会(臨床工学科)	33	361
医療安全・医薬品安全管理研修(医療安全管理委員会・薬剤科)	2	2,188
造影剤副作用実技講習会(画像診断科)	2	41
新入職員研修(ソーシャルワーク科)	5	5
スーパーバイザー研修(ソーシャルワーク科)	1	9

### シード・ウォーク

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
必須研修(プライバシー、R4、法令遵守、感染症、接遇、認知症、事故防止)	8	80

### 河北リハビリテーション病院

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
新人研修(リハビリテーション部門)	60	1,020
新入職員研修(教育委員会)	1	33
医療機器安全研修(医療機器安全委員会)	3	379
医療安全・医薬品安全管理研修(PMS委員会)	3	610
感染研修(感染委員会)	2	451
接遇研修(接遇委員会)	1	148
診療放射線の安全利用の研修(医療放射線管理委員会)	1	100

### 河北透析クリニック

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
ワーキングチームによるテスト	22	770
透析患者の急変時対応研修	5	175
TMP勉強会	1	12
血液透析患者の運動療法勉強会	1	12
透析患者の栄養評価勉強会	1	12
モタ取扱研修	4	76

### 河北健診クリニック

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
感染対策セミナー	2	432
がん検診精度管理報告会	1	18
院内勉強会	5	70

# 財団共通研修

役割等級	階層別研修(役割等級に応じた研修)				目的別研修				自己啓発支援			
					内部研修		外部研修					
M3級							東京都病院協会 幹部職員セミナー(経営塾)		病院長・幹部職員セミナー			
M2級												
M1級	管理職研修	財団の理念	心のケア チームビルディング		新任科(課)長研修	理事長講話	評価者研修	評価者フォローアップ研修	臨床研修指導医講習会	病院事務長研修	病院中堅職員育成研修	医療クオリティマシナー養成セミナー
L3級	上級監督職研修	財団の理念	心のケア マインドフルネス		管理職候補者選抜研修	理事長講話						
L2級	中級監督職研修	財団の理念	心のケア フォロアシップ		新任主任研修	理事長講話 主任の役割と心構え						
L1級	初級監督職研修	財団の理念	心のケア リーダーシップ		監督職の役割と責任							
S3級	スタッフ研修3	財団の理念	心のケア 後輩指導		後輩指導について考える							
S2級	スタッフ研修2	財団の理念	心のケア コミュニケーション		成功体験/失敗体験から学ぶ仕事のやり方							
S1級	定期新入社員フォロー研修	財団の理念	仕事の振り返り ビジネスマナー	心のケア ストレス対処								
	定期新入社員研修	幹部講和	財団の理念 財団ルール	社会人基礎 ビジネスマナー					新入職員研修(東京都病院協会主催)			

■ 研修項目 ■ 実施プログラム □ 要検討項目

## 看護部

項目	開催数(回)	延べ参加数(人)
KNSクリニックラダー1 チャレンジ研修	2	322
KNS新人看護職員研修 教育担当者研修	2	16
KNS新人看護職員研修 実地指導者研修	3	36
KNS新人看護職員研修 指導者合同研修	1	3
看護必要度コース オンデマンド研修(河北総合病院・分院)	3	758
認知症コース オンデマンド研修(河北総合病院・分院)	1	352
看護補助者充実体制オンデマンド(河北総合病院・分院)	7	2,648
新入職者研修(入職時)(河北総合病院・分院)	12	284
看護補助者・クラークオンデマンド研修(河北総合病院・分院)	13	438
科長会 看護管理能力を高める勉強会	4	67
科長会 DPC基本の理解と病床管理への応用勉強会(河北総合病院・分院)	1	21
科長会 診療報酬改定勉強会(河北総合病院・分院)	1	22
急変予測研修(RRT)(河北総合病院・分院)	1	4
DNAR研修(RRT)(河北総合病院・分院)	1	21
補助者・クラーク研修 オムツ交換・体位変換(河北総合病院・分院)	1	3
補助者・クラーク研修 食事介助と口腔ケア(河北総合病院・分院)	1	3

項目	開催数(回)	延べ参加数(人)
補助者・クラーク研修 移乗・移送(河北総合病院・分院)	1	3
新人研修(河北リハビリテーション病院)	1	8
回復期リハビリ看護基礎研修	2	16
回復期リハビリテーション専門研修(脳血管疾患と看護)	2	27
回復期リハビリテーション専門研修(認知症の看護)	1	1
回復期リハビリテーション専門研修(摂食嚥下障害看護)	2	18
回復期リハビリテーション専門研修(運動器疾患と看護)	1	1
回復期リハビリテーション専門研修(社会資源の活用と退院支援)	1	11
回復期リハビリテーション専門研修(排泄について)	1	9
マネジメント研修	3	3
訪問看護師勉強会(河北家庭医療学センター)	29	435
東京都訪問看護教育ステーション事業(人材育成) Web開催(河北家庭医療学センター)	3	147
家庭医療科外来看護師 ミニ勉強会(河北家庭医療学センター)	12	6
東京都訪問看護教育ステーション事業(人材育成) 同行訪問研修(河北家庭医療学センター)	11	26
クリニック内勉強会(河北健診クリニック)	3	22

## 多摩事業部 ※(E-Learning)

項目	開催数(回)	延べ参加数(人)
新入職者研修/過年採用者研修	3	86
あいセーフティネット連携研修	2	28
幹部管理者研修	1	53
労務管理研修	1	10
採用面接官研修(実技・GW)	1	4
採用面接官研修(基礎知識)	-	(2)
評価者研修	3	66
被評価者研修	-	(20)
リーダーシップ研修	1	13
コーチング研修	1	37
インバスケゲーム	1	13
接遇マナー研修	6	(17) 166
教育委員会	2	26
環境マネジメントシステム委員会	5	65
労働安全衛生委員会	2	38
人事・福利厚生委員会	5	85
リハビリ職種新入職員研修	7	70
リハビリ職種階層別研修	6	41
ポッチャ推進員育成研修	2	9
新入職者研修(介護職種)	2	18
全体研修	2	275
介護職種勉強会(認知症研修・7つの提言)	1	20
地域包括ケア部全体研修(感染防止・認知症ケア・BCP・職業倫理・身体的拘束・虐待防止など)	5	93
相談職・ケアマネ職種研修	2	68
事務管理研修	2	58
コンプライアンス研修	-	(77)
ハラスメント研修	-	(43)
アンガーマネジメント研修(全4回)	-	(1,095)

## あいで在宅複合施設中沢

項目	開催数(回)	延べ参加数(人)
老健の役割説明会	1	25
認知症勉強会	1	30
ハラスメント研修	1	30
診療報酬について	1	30
感染症説明会	1	27
フレイル勉強会	1	27
災害BCP勉強会	1	30
虐待防止勉強会	1	29

## 天本病院看護介護部

項目	開催数(回)	延べ参加数(人)
経鼻胃管・膀胱留置カテーテル手技	1	6
リーダーシップ研修	1	4
看護の質向上発表会	1	8

## あい介護老人保健施設

項目	開催数(回)	延べ参加数(人)
初心者・中堅者研修 排泄ケア講習会	4	22
おむつマイスター	3	14
排泄ケアにおける感染対策	2	31
ノロウイルス・インフルエンザ対策	2	22
排泄時のスキンケア	2	23

## あい訪問看護ステーション中沢

項目	開催数(回)	延べ参加数(人)
多職種で共有する、知的障害者のリハビリ方法の実演	1	13
多系統萎縮症の嚥下機能訓練	1	12
超高齢者のスキンケアトラブルを防ぐ	1	11
若年脊髄小脳変性症の看取りと家族ケア	1	14

## あい訪問看護ステーション平尾

項目	開催数(回)	延べ参加数(人)
診療報酬改定の説明会	1	11
ケースカンファランス	4	40
皮膚保護材の勉強会	1	11
福祉機器アモ	1	15

## ケアプランセンターあいクリニック中沢

項目	開催数(回)	延べ参加数(人)
2024年度制度改正について 居宅介護支援	1	5
2024年度制度改正について 福祉用具選択制	1	5
障害給付と災害対策	1	5
防災について	1	5
デジタルDXについて	1	5
虐待について	1	5
感染対策について	1	5

# 統計 | 杉並事業部

## 河北総合病院 / 分院 / 河北サテライト クリニック

### 入院診療実績

単位:人

		2022年度	2023年度	2024年度
内科	入院患者延数	49,186	60,007	70,746
	新入院患者数	3,451	4,084	4,653
	1日平均患者数	134.8	164.0	193.8
	前年比	86.4%	122.0%	117.9%
小児科	入院患者延数	3,490	4,524	367
	新入院患者数	886	1,237	268
	1日平均患者数	9.6	12.4	1.0
	前年比	96.2%	129.6%	8.1%
産婦人科	入院患者延数	3,188	3,238	3,433
	新入院患者数	654	753	735
	1日平均患者数	8.7	8.8	9.4
	前年比	100.8%	101.6%	106.0%
耳鼻咽喉科	入院患者延数	3,231	3,948	3,878
	新入院患者数	578	763	754
	1日平均患者数	8.9	10.8	10.6
	前年比	110.0%	122.2%	98.2%
外科	入院患者延数	8,820	8,771	8,030
	新入院患者数	812	899	828
	1日平均患者数	24.2	24.0	22.0
	前年比	106.6%	99.4%	91.6%
形成外科・美容外科	入院患者延数	40	28	4
	新入院患者数	26	11	4
	1日平均患者数	0.1	0.1	0.0
	前年比	26.8%	70.0%	14.3%
乳腺外科	入院患者延数	646	457	486
	新入院患者数	70	51	61
	1日平均患者数	1.8	1.2	1.3
	前年比	120.7%	70.7%	106.3%
脳神経外科	入院患者延数	9,747	10,648	11,535
	新入院患者数	572	648	667
	1日平均患者数	26.7	29.1	31.6
	前年比	94.4%	109.2%	108.3%
心臓血管外科	入院患者延数	1,032	592	467
	新入院患者数	33	36	28
	1日平均患者数	2.8	1.6	1.3
	前年比	132.5%	57.4%	78.9%
呼吸器外科	入院患者延数	2,779	3,368	2,093
	新入院患者数	205	220	136
	1日平均患者数	7.6	9.2	5.7
	前年比	314.0%	121.2%	62.1%
皮膚科	入院患者延数	—	—	—
	新入院患者数	—	—	—
	1日平均患者数	—	—	—
	前年比	—	—	—
泌尿器科	入院患者延数	2,328	2,248	2,158
	新入院患者数	400	374	362
	1日平均患者数	6.4	6.1	5.9
	前年比	110.5%	96.6%	96.0%
眼科	入院患者延数	677	642	587
	新入院患者数	705	820	726
	1日平均患者数	1.9	1.8	1.6
	前年比	160.0%	94.8%	91.4%
整形外科	入院患者延数	13,494	14,567	15,720
	新入院患者数	1,026	1,161	1,195
	1日平均患者数	37.0	39.8	43.1
	前年比	97.8%	108.0%	107.9%
救急科※	入院患者延数	577	847	1,009
	新入院患者数	280	462	739
	1日平均患者数	1.6	2.3	2.8
	前年比	—	146.8%	119.1%
合計	入院患者延数	99,235	113,885	120,513
	新入院患者数	9,698	11,519	11,156
	1日平均患者数	271.9	311.2	330.2
	前年比	95.5%	114.8%	105.8%
診療日数	365日	366日	365日	

### 平均在院日数の推移

単位:日

2024年度詳細

	2022年度	2023年度	2024年度	河北総合病院	分院
4月	10.1	9.2	10.2	9.5	21.2
5月	10.7	9.7	10.3	9.8	17.0
6月	9.7	9.4	10.5	10.0	17.9
7月	9.7	9.8	11.0	10.7	15.4
8月	10.3	9.6	11.3	10.9	16.4
9月	9.5	9.9	11.4	11.0	15.5
10月	9.7	9.8	10.6	10.0	21.4
11月	9.9	9.5	10.5	9.9	19.8
12月	10.0	9.9	10.4	10.0	16.4
1月	10.9	11.4	12.1	11.7	15.9
2月	9.6	9.8	11.2	10.8	16.9
3月	9.7	10.1	11.8	11.3	18.5
合計	10.0	9.8	10.9	10.4	17.5

※ICU・CCU病棟は含まない。

### 診療科別平均在院日数

単位:日

2024年度詳細

	2022年度	2023年度	2024年度	河北総合病院	分院
内科	12.8	13.3	14.5	12.9	17.5
小児科	4.0	3.7	2.6	2.6	—
産婦人科	4.9	4.3	4.6	4.6	—
耳鼻咽喉科	5.6	5.2	5.1	5.1	—
外科	10.7	9.6	9.4	9.4	—
形成外科・美容外科	1.6	2.7	1.1	1.1	—
乳腺外科	※9.1	9.0	7.9	7.9	—
脳神経外科	16.9	16.5	16.7	16.7	—
心臓血管外科	27.6	16.0	16.4	16.4	—
呼吸器外科	13.2	14.8	14.3	14.3	—
皮膚科	—	—	—	—	—
泌尿器科	5.9	5.9	5.9	5.9	—
眼科	0.9	0.8	0.8	0.8	—
整形外科	13.0	12.6	13.0	13.0	—
合計	10.0	9.8	10.9	10.4	17.5

※システム上の都合により外科に含む。

## 入退院経路

単位:人

退院経路 入院経路	通院不要	当院外来	診療所	他病院 外来	他病院 入院	他病院入院 (分院→河北総合病院)	死亡	自主退院	その他	合計
当院外来	368	3,628	262	123	575	2	123	11	60	5,152
診療所	116	2,724	432	70	309	1	76	11	65	3,804
他病院外来	17	450	33	60	103	0	10	0	18	691
他病院入院	0	48	3	2	158	2	18	0	14	245
他病院入院 (河北総合病院→分院)	6	61	14	3	47	3	18	0	32	184
院内出生	0	108	2	2	4	0	0	0	0	116
その他	6	133	7	4	142	0	65	0	600	957
合計	513	7,152	753	264	1,338	8	310	22	789	11,149

## 年齢別患者数(入院)

単位:人

年齢区分	2022年度		2023年度		2024年度	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
0~14歳	3,682	3.7%	5,028	4.4%	1,481	1.2%
15~64歳	22,079	22.2%	24,751	21.7%	25,199	20.9%
65~69歳	5,926	6.0%	6,073	5.3%	6,973	5.8%
70~74歳	8,909	9.0%	9,403	8.3%	10,390	8.6%
75~79歳	12,154	12.2%	12,933	11.4%	14,451	12.0%
80~84歳	16,122	16.2%	17,912	15.7%	19,809	16.4%
85~89歳	17,005	17.1%	18,494	16.2%	19,875	16.5%
90歳以上	13,358	13.5%	19,291	16.9%	22,336	18.5%
合計	99,235		113,885		120,514	

## 病床利用率の推移

病棟	2022年度※	2023年度	2024年度
河北総合病院 本館1階ICU	63.5%	74.9%	72.5%
河北総合病院 CCU	76.3%	80.5%	82.6%
ICU・CCU計	69.9%	77.7%	77.5%
河北総合病院 HCU	56.6%	71.1%	56.9%
河北総合病院 本館2・3階	84.9%	87.9%	94.9%
河北総合病院 本館4階	90.0%	91.6%	93.8%
河北総合病院 本館5階	44.4%	90.1%	95.9%
河北総合病院 東館2階	90.1%	91.0%	94.6%
河北総合病院 東館3階	90.3%	92.8%	95.0%
河北総合病院 東館4階	90.7%	90.9%	96.8%
河北総合病院 新館2階	59.0%	61.3%	72.1%
河北総合病院 新館4階	35.2%	55.8%	78.4%
一般病棟計	77.1%	86.0%	92.4%
河北総合病院 計	76.3%	85.4%	89.7%
分院HCU	8.7%	0%	0%
分院2階	23.7%	75.2%	90.1%
分院3階	31.6%	0%	0%
河北総合病院分院 計	25.3%	37.6%	90.1%
合計	66.8%	76.5%	89.7%

■ 病床利用率(23時59分時点) = 入院患者数 / (稼働病床数 × 診療日数)

※ 2022年度はCOVID-19患者受け入れ及び感染対策のため一部の病床は休床

## 外来診療実績

単位:人

		2022年度	2023年度	2024年度
内科	外来患者延数	85,974	86,599	87,497
	新外来患者数	6,894	7,134	7,541
	1日平均患者数	292.4	294.6	298.6
	前年比	88.5%	100.7%	101.0%
小児科	外来患者延数	15,928	17,870	8,029
	新外来患者数	1,428	1,689	583
	1日平均患者数	54.2	60.8	27.4
	前年比	92.6%	112.2%	44.9%
産婦人科	外来患者延数	15,335	15,278	12,325
	新外来患者数	1,032	1,132	981
	1日平均患者数	52.2	52.0	42.1
	前年比	99.9%	99.6%	80.7%
耳鼻咽喉科	外来患者延数	10,454	10,939	10,537
	新外来患者数	2,083	2,562	2,501
	1日平均患者数	35.6	37.2	36.0
	前年比	103.3%	104.6%	96.3%
外科	外来患者延数	9,461	8,646	8,354
	新外来患者数	530	528	558
	1日平均患者数	32.2	29.4	28.5
	前年比	99.9%	91.4%	96.6%
形成外科・美容外科	外来患者延数	1,663	1,466	1,102
	新外来患者数	273	278	190
	1日平均患者数	5.7	5.0	3.8
	前年比	86.6%	88.2%	75.2%
乳腺外科	外来患者延数	4,510	4,403	4,616
	新外来患者数	372 ※1	366	453
	1日平均患者数	15.3	15.0	15.8
	前年比	112.1%	97.6%	104.8%
脳神経外科	外来患者延数	3,970	4,235	5,091
	新外来患者数	346	425	499
	1日平均患者数	13.5	14.4	17.4
	前年比	110.6%	106.7%	120.2%
心臓血管外科	外来患者延数	1,682	1,758	1,663
	新外来患者数	69	61	73
	1日平均患者数	5.7	6.0	5.7
	前年比	102.7%	104.5%	94.6%
呼吸器外科	外来患者延数	1,540	1,697	1,677
	新外来患者数	83	67	67
	1日平均患者数	5.2	5.8	5.7
	前年比	155.7%	110.2%	98.8%
皮膚科	外来患者延数	2,679	4,328	4,888
	新外来患者数	184	689	324
	1日平均患者数	9.1	14.7	16.7
	前年比	86.4%	161.6%	112.9%
泌尿器科	外来患者延数	12,401	12,225	12,111
	新外来患者数	984	979	946
	1日平均患者数	42.2	41.6	41.3
	前年比	108.2%	98.6%	99.1%
眼科	外来患者延数	13,114	11,197	9,602
	新外来患者数	1,271	1,178	568
	1日平均患者数	44.6	38.1	32.8
	前年比	116.9%	85.4%	85.8%
整形外科	外来患者延数	28,076	27,266	26,007
	新外来患者数	1,550	1,839	1,973
	1日平均患者数	95.5	92.7	88.8
	前年比	107.2%	97.1%	95.4%
神経科	外来患者延数	8,537	7,826	7,837
	新外来患者数	150	126	92
	1日平均患者数	29.0	26.6	26.7
	前年比	97.0%	91.7%	100.1%
救急科 ※2	外来患者延数	11,985	10,411	6,629
	新外来患者数	8,634	7,750	4,862
	1日平均患者数	40.8	35.4	22.6
	前年比	—	86.9%	63.7%
合計	外来患者延数	227,309	226,144	207,965
	新外来患者数	25,883	26,803	22,211
	1日平均患者数	773.2	769.2	709.8
	前年比	102.3%	99.5%	92.0%
診療日数	294日	294日	293日	

## 年齢別患者数(外来)

単位:人

年齢区分	2022年度		2023年度		2024年度	
0~14歳	19,419	8.5%	20,877	9.2%	9,149	4.4%
15~64歳	90,281	39.7%	90,178	39.9%	86,458	41.5%
65~69歳	16,743	7.4%	16,414	7.3%	16,988	8.1%
70~74歳	25,385	11.2%	22,611	10.0%	21,067	10.1%
75~79歳	25,469	11.2%	26,243	11.6%	26,399	12.7%
80~84歳	23,719	10.4%	23,873	10.6%	24,115	11.6%
85~89歳	17,818	7.8%	17,087	7.6%	16,056	7.7%
90歳以上	8,475	3.7%	8,861	3.9%	8,314	4.0%
合計	227,309		226,144		208,546	

## 紹介率・逆紹介率 (河北総合病院のみ)

	2022年度	2023年度	2024年度
紹介率(%)	72.1%	79.6%	80.6%
紹介患者数(人)	9,091	11,251	10,341
逆紹介率(%)	67.5%	77.7%	75.4%
逆紹介患者数(人)	8,516	10,989	9,670
初診患者数(人)	12,609	14,135	19,800

■紹介率 = 紹介患者数 / 初診患者数(救急搬送患者を除く)

■逆紹介率 = 逆紹介患者数 / 初診患者数(地域医療支援病院算定式に則る)

## 救急患者数

単位:人

		2022年度		2023年度		2024年度	
		外来	内入院	外来	内入院	外来	内入院
内科	延患者数	5,972	1,720	6,312	2,586	6,433	2,984
	入院率		28.8%		41.0%		46.4%
小児科	延患者数	2,919	367	2,548	428	12	
	入院率		12.6%		16.8%		
産婦人科	延患者数	357	199	365	182	258	145
	入院率		55.7%		49.9%		56.2%
耳鼻咽喉科	延患者数	499	59	527	123	447	145
	入院率		11.8%		23.3%		32.4%
外科	延患者数	2,595	217	2,098	274	1,449	240
	入院率		8.4%		13.1%		16.6%
脳神経外科	延患者数	1,340	448	1,476	496	1,232	489
	入院率		33.4%		33.6%		39.7%
心臓血管外科	延患者数	13	5	12	7	6	2
	入院率		38.5%		58.3%		33.3%
呼吸器外科	延患者数	87	64	98	69	81	66
	入院率		73.6%		70.4%		81.5%
皮膚科	延患者数	95	2	59	2	20	
	入院率		2.1%		3.4%		
泌尿器科	延患者数	367	15	397	25	296	48
	入院率		4.1%		6.3%		16.2%
眼科	延患者数	10	0	10	1	9	1
	入院率		0.0%		10.0%		11.1%
整形外科	延患者数	1,320	317	1,153	348	830	313
	入院率		24.0%		30.2%		37.7%
合計	延患者数	15,574	3,413	15,055	4,541	11,073	4,433
	月平均	1,298	284	1,255	378	923	369
	入院率		21.9%		30.2%		40.0%

## 救急車搬送件数

単位:件

	2022年度	2023年度	2024年度
搬送件数	7,984	8,539	7,282
内入院件数	2,217	3,075	3,346
入院率	27.8%	36.0%	45.9%

## 河北救急車出動回数

単位:件

	2022年度	2023年度	2024年度
出動回数	461	647	521

## 施設別詳細

### 入院患者延数

(診療日数 365 日) 単位:人

2024年度	内科	小児科	産婦人科	耳鼻咽喉科	外科	形成外科・美容外科	乳腺外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	整形外科	救急科	合計
河北総合病院	58,251	978	2,822	3,878	8,030	4	486	11,535	467	2,093	—	2,158	587	15,720	1,009	108,018
分院	12,496	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12,496
計	70,747	978	2,822	3,878	8,030	4	486	11,535	467	2,093	—	2,158	587	15,720	1,009	120,514
1日平均	193.8	2.7	7.7	10.6	22.0	0.0	1.3	31.6	1.3	5.7	—	5.9	1.6	43.1	2.8	330.2

### 新入院患者数

(診療日数 365 日) 単位:人

2024年度	内科	小児科	産婦人科	耳鼻咽喉科	外科	形成外科・美容外科	乳腺外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	整形外科	救急科	合計
河北総合病院	3,920	373	620	753	823	4	61	666	27	135	—	361	726	1,197	767	10,433
分院	714	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	714
計	4,634	373	620	753	823	4	61	666	27	135	—	361	726	1,197	767	11,147
1日平均	12.7	1.0	1.7	2.1	2.3	0.0	0.2	1.8	0.1	0.4	—	1.0	2.0	3.3	2.1	30.5

※河北総合病院⇄分院の転院による入院を除く

### 外来患者延数

(診療日数 296 日) 単位:人

2024年度	内科	小児科	産婦人科	耳鼻咽喉科	外科	形成外科・美容外科	乳腺外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	整形外科	神経科	救急科	合計
河北総合病院	7,458	8,029	12,325	10,537	8,352	1,102	4,616	5,091	1,663	1,677	—	12,111	20	26,007	1	6,629	105,618
分院	80,041	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,722	—	7,090	—	7,836	—	98,689
河北サテライトクリニック	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,166	—	2,492	—	—	—	3,658
計	87,499	8,029	12,325	10,537	8,352	1,102	4,616	5,091	1,663	1,677	4,888	12,111	9,602	26,007	7,837	6,629	207,965
1日平均	298.6	27.4	42.1	36.0	28.5	3.8	15.8	17.4	5.7	5.7	16.7	41.3	32.8	88.8	26.7	22.6	709.8

### 新外来患者数

(診療日数 296 日) 単位:人

2024年度	内科	小児科	産婦人科	耳鼻咽喉科	外科	形成外科・美容外科	乳腺外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	整形外科	神経科	救急科	合計
河北総合病院	2,853	583	981	2,501	558	190	453	499	73	67	—	946	13	1,973	—	4,862	16,552
分院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	324	—	555	—	92	—	971
河北サテライトクリニック	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	177	—	257	—	—	—	434
計	2,853	583	981	2,501	558	190	453	499	73	67	501	946	825	1,973	92	4,862	17,957
1日平均	9.7	2.0	3.3	8.5	1.9	0.6	1.5	1.7	0.2	0.2	1.7	3.2	2.8	6.7	0.3	16.6	61.3

## 手術件数

単位:件

		産婦人科	耳鼻咽喉科	外科	形成外科・美容外科	乳腺外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	整形外科	内科	合計	月平均
2022年度	延件数	332	214	612	147	68	129	34	61	-	368	809	1,036	98	3,908	325.7
	前年比	108%	123%	106%	92%	131%	96%	89%	113%	-	121%	144%	107%	134%	115%	
2023年度	延件数	336	292	693	170	45	165	33	67	-	319	827	1,186	90	4,223	351.9
	前年比	101%	136%	113%	116%	66%	128%	97%	110%	-	87%	102%	114%	92%	115%	
2024年度	延件数	262	318	731	122	59	204	32	68	-	321	729	1,331	73	4,250	354.2
	前年比	78%	109%	105%	72%	131%	124%	97%	101%	-	101%	88%	112%	81%	101%	

## 麻酔件数

単位:件

2024年度		産婦人科	耳鼻咽喉科	外科	形成外科・美容外科	乳腺外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	整形外科	内科	合計
全麻	延件数	181	305	609	1	58	144	25	67	-	268	5	965	1	2,629
	(緊急手術件数)	(17)	(7)	(174)	(0)	(1)	(37)	(1)	(1)		(9)	(3)	(79)	(0)	(329)
全麻以外	延件数	81	13	122	121	1	60	7	1	-	53	724	366	72	1,621
	(緊急手術件数)	(44)	(0)	(13)	(0)	(0)	(50)	(0)	(0)		(7)	(5)	(82)	(1)	(202)
合計	延件数	262	318	731	122	59	204	32	68	-	321	729	1,331	73	4,250
	(緊急手術件数)	(61)	(7)	(187)	(0)	(1)	(87)	(1)	(1)		(16)	(8)	(161)	(0)	(531)

## 内視鏡検査件数の推移

単位:件

	2022年度	2023年度	2024年度
入院	1,381 (427)	1,524 (465)	1,539 (515)
外来	4,164 (887)	3,995 (861)	3,959 (966)
合計	5,545 (1,314)	5,519 (1,326)	5,498 (1,481)
月平均	462.1 (109.5)	459.9 (110.5)	458.2 (123.4)
前年比	98.3% -	99.5% -	99.6% -

## 分娩件数の推移

単位:件

	2022年度	2023年度	2023年度
合計	297	246	229
月平均	24.8	20.5	19.1
前年比	101.7%	82.8%	93.1%

## 病理検査件数の推移

単位:件

		2022年度	2023年度	2024年度
組織診	入院	2,221	2,380	2,415
	外来	2,651	2,590	2,793
	計	4,872	4,970	5,208
	月平均	406	414	434
	前年比	105.4%	102.0%	104.8%
細胞診	入院	565	712	625
	外来	8,872	9,144	8,687
	計	9,437	9,856	9,312
	月平均	786	821	776
	前年比	75.3%	104.4%	94.5%

## 剖検状況の推移

	2022年度	2023年度	2024年度
院内死亡退院数(人)	221	281	314
剖検数(件)	8	10	12
剖検率(%)	3.6%	3.6%	3.8%

## リハビリテーション実施件数の推移

単位:件

		2022年度	2023年度	2024年度
心大血管	入院	10,491	8,885	8,863
	外来	993	1,237	1,477
	計	11,484	10,122	10,340
脳血管	入院	31,792	33,705	32,799
	外来	617	646	594
	計	32,409	34,351	33,393
廃用症候群等	入院	28,461	29,834	29,966
	外来	21	0	21
	計	28,482	29,834	29,987
運動器	入院	20,550	22,166	23,924
	外来	25,444	24,316	21,280
	計	45,994	46,482	45,204
呼吸器	入院	11,048	13,093	17,773
	外来	4	0	38
	計	11,052	13,093	17,811
がん	入院	1,356	1,441	767
	外来	0	0	0
	計	1,356	1,441	767
合計	入院	103,698	109,124	114,092
	外来	27,079	26,199	23,410
	計	130,777	135,323	137,502
	月平均	10,898	11,277	11,459
	前年比	98.4%	103.5%	101.6%

## 訪問リハビリテーション

	2022年度	2023年度	2024年度
訪問回数(件)	3,842	3,525	3,174
利用者数(人)	709	640	585
月平均(件)	320	294	265
前年比	89.1%	91.7%	90.0%

## 画像診断検査件数の推移

単位:検査数(一般撮影のみ部位数)

		2022年度	2023年度	2024年度
一般撮影 (河北総合病院+分院+ 河北サテライトクリニック)	入院	20,145	21,904	22,275
	外来	29,906	31,445	32,293
	計	50,051	53,349	54,568
	月平均	4,171	4,446	4,547
	前年比	110.1%	106.6%	102.3%
X線透視 (TV室+OPE室)	入院	1,059	1,061	1,130
	外来	145	122	144
	計	1,204	1,183	1,274
	月平均	100	99	106
	前年比	104.2%	98.3%	107.7%
R I	入院	57	61	82
	外来	568	514	544
	計	625	575	626
	月平均	52	48	52
	前年比	92.3%	92.0%	108.9%
血管造影 (第1カテ+第2カテ)	入院	1,050	1,093	1,091
	外来	93	131	149
	計	1,143	1,224	1,240
	月平均	95	102	103
	前年比	101.4%	107.1%	101.3%
骨密度	入院	221	241	135
	外来	1,053	1,197	1,182
	計	1,274	1,438	1,317
	月平均	106	120	110
	前年比	143.6%	112.9%	91.6%
CT (CT①+CT②)	入院	3,357	3,523	3,562
	外来	17,328	18,689	18,643
	計	20,685	22,212	22,205
	月平均	1,724	1,851	1,850
	前年比	91.5%	107.4%	100.0%
MRI (1.5T MRI+0.4T MRI)	入院	1,139	1,313	1,269
	外来	5,437	5,584	5,874
	計	6,576	6,897	7,143
	月平均	548	575	595
	前年比	93.7%	104.9%	103.6%
超音波 (河北総合病院+分院+ 河北サテライトクリニック)	入院	2,633	3,188	2,798
	外来	10,327	10,870	9,885
	計	12,960	14,058	12,683
	月平均	1,080	1,172	1,057
	前年比	95.7%	108.5%	90.2%

## 外来超音波件数の推移

単位:検査数

		2022年度	2023年度	2024年度
泌尿器科	入院	5	5	11
	外来	388	384	398
	計	393	389	409
	月平均	33	32	34
	前年比	69.9%	99.0%	105.1%
産婦人科	入院	—	117	128
	外来	—	8,033	3,131
	計	—	8,150	3,259
	月平均	—	679	272
	前年比	—	—	—

## 内服薬処方箋

		2022年度	2023年度	2024年度
枚数(枚)	枚数	56,447	66,791	98,956
	月平均	4,704	5,566	8,246
	前年比	90.1%	118.3%	148.2%
調剤件数(件)	件数	130,854	162,710	176,385
	月平均	10,905	13,559	14,699
	前年比	94.3%	124.3%	108.4%
剤数(個)	日数	865,812	1,089,368	1,193,153
	月平均	72,151	90,781	99,429
	前年比	91.8%	125.8%	109.5%

## 注射処方箋

		2022年度	2023年度	2024年度
枚数(枚)	枚数	36,865	76,916	91,133
	月平均	3,072	6,410	7,594
	前年比	96.8%	208.6%	118.5%
件数(件)	件数	95,321	170,096	191,886
	月平均	7,943	14,175	15,991
	前年比	86.8%	178.4%	112.8%
剤数(個)	剤数	189,504	331,554	381,270
	月平均	15,792	27,630	31,773
	前年比	83.1%	175.0%	115.0%

※2023年度は臨時処方調剤を実施したため件数が増加

## 薬剤管理指導件数

単位:件

		2022年度	2023年度	2024年度
薬剤管理指導件数	件数	14,281	20,450	18,891
	前年比	112.7%	143.2%	92.4%
麻薬管理指導 加算件数	件数	289	558	359
	前年比	233.1%	193.1%	64.3%
退院時薬剤情報 管理指導件数	件数	5,167	6,374	7,457
	前年比	106.3%	123.4%	117.0%
化学療法加算枚数	枚数	2,080	1,868	2,194
	前年比	109.2%	89.8%	117.5%
その他無菌製剤枚数 (加算)	枚数	613	696	493
	前年比	92.5%	113.5%	70.8%

## 臨床検査件数の推移

単位:件

		2022年度			2023年度			2024年度		
		入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
一般	検査件数	9,536	108,149	117,685	10,496	114,310	124,806	10,866	118,702	129,568
	月平均	795	9,012	9,807	875	9,526	10,401	906	9,892	10,797
	前年比			104.5%			106.1%	103.5%	103.8%	103.8%
血液	検査件数	171,179	539,583	710,762	194,371	573,420	767,791	203,600	578,330	781,930
	月平均	14,265	44,965	59,230	16,198	47,785	63,983	16,967	48,194	65,161
	前年比			99.0%			108.0%	104.7%	100.9%	101.8%
免疫	検査件数	56,486	221,597	278,083	63,009	235,441	298,450	65,708	250,218	315,926
	月平均	4,707	18,466	23,174	5,251	19,620	24,871	5,476	20,852	26,327
	前年比			90.3%			107.3%	104.3%	106.3%	105.9%
細菌	検査件数	11,756	14,360	26,116	13,414	19,192	32,606	12,710	18,050	30,760
	月平均	980	1,197	2,176	1,118	1,599	2,717	1,059	1,504	2,563
	前年比			90.9%			124.9%	94.8%	94.0%	94.3%
生化学	検査件数	378,876	1,596,124	1,975,000	423,295	1,686,926	2,110,221	437,083	1,713,873	2,150,956
	月平均	31,573	133,010	164,583	35,275	140,577	175,852	36,424	142,823	179,246
	前年比			98.5%			106.8%	103.3%	101.6%	101.9%
生理機能	検査件数	2,304	22,673	24,977	2,867	23,513	26,380	2,708	24,033	26,741
	月平均	192	1,889	2,081	239	1,959	2,198	226	2,003	2,228
	前年比			101.1%			105.6%	94.5%	102.2%	101.4%
合計	検査件数	630,137	2,502,486	3,132,623	707,452	2,652,802	3,360,254	732,675	2,703,206	3,435,881
	月平均	52,511	208,541	261,052	58,954	221,067	280,021	61,056	225,267	286,323
	前年比			98.0%			107.3%	103.6%	101.9%	102.3%

※システム上の都合により時間外を含む

## 外注検査件数

単位:件

	2022年度	2023年度	2024年度
件数	98,348	101,639	89,954
月平均	8,196	8,470	7,496
前年比	98.0%	103.3%	88.5%

## 栄養指導件数

単位:件

			2022年度	2023年度	2024年度
個人指導	入院	加算	1,857	2,057	1,706
		非加算	6,699	9,818	123
	外来	加算	709	873	814
		非加算	7	14	8
集団指導	入院	加算	139	269	0
		非加算	0	0	0
	外来	加算	0	0	0
		非加算	0	0	0
NST(栄養サポートチーム加算)			355	490	465
合計			9,766	13,521	3,116
月平均			814	1,127	260

## 食数

単位:件

		2022年度	2023年度	2024年度
総食数	件数	274,157	255,559	313,181
	月平均	22,846	21,297	26,098
特別食	件数	110,384	101,254	119,848
	月平均	9,199	8,438	9,987
自費食	件数	4,714	5,320	4,468
	月平均	393	443	372

## 加算

単位:件

		2022年度	2023年度	2024年度
周術期栄養管理加算		-	-	289
早期栄養介入管理加算	経腸	-	-	1,340
	静脈	-	-	866

疾病別・診療科別患者数(大分類)

単位:人

ICD	国際分類大項目分類		眼科	形美外科	呼外科	産婦人	耳鼻科	小児科	消外科	心外科	整形外科	内科	乳外科	脳外科	泌尿器	合計	
I	感染症および寄生虫症	男			1		17	9	4			94			1	126	
		女				3	12	9	6			66			1	97	
		計			1	3	29	18	10			160			2	223	
II	新生物<腫瘍>	男		2	64		7		132		1	261		7	190	664	
		女		2	31	128	2		81		2	201	63	10	29	549	
		計		4	95	128	9		213		3	462	63	17	219	1,213	
III	血液および造血系の疾患ならびに免疫機構の障害	男			1				2			33				36	
		女				1						51				52	
		計			1	1			2			84				88	
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男						8				100		1	1	110	
		女					3					104		1		108	
		計					11					204		2	1	218	
V	精神および行動の障害	男						3				12				15	
		女										5				5	
		計						3				17				20	
VI	神経系の疾患	男					35	3			6	108		15		167	
		女					21	5			2	78		12		118	
		計					56	8			8	186		27		285	
VII	眼および付属器の疾患	男	298	1								1				300	
		女	443	2								1				446	
		計	741	3								2				746	
VIII	耳および乳様突起の疾患	男					119					1				120	
		女					174					5				179	
		計					293					6				299	
IX	循環器系の疾患	男							1	20		696		247		964	
		女								10		457		261		728	
		計							1	30		1,153		508		1,692	
X	呼吸器系の疾患	男			56		218	21	2			384				681	
		女			11		120	13	1	1		331		1		478	
		計			67		338	34	3	1		715		1		1,159	
XI	消化器系の疾患	男					5	1	362			476			1	845	
		女				1	4		291			374				670	
		計				1	9	1	653			850			1	1,515	
XII	皮膚および皮下組織の疾患	男					1	1			1	33			1	37	
		女					2	2			1	30				35	
		計					3	3			2	63			1	72	
XIII	筋骨格系および結合組織の疾患	男						4			77	49		5		135	
		女					2	4	1		131	87		6		231	
		計					2	8	1		208	136		11		366	
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	男					3	1	1			236		1	114	356	
		女				63	2		2			232	4		44	347	
		計				63	5	1	3			468	4	1	158	703	
XV	妊娠、分娩および産じょ<<褥>	男															
		女				474											474
		計				474											474
XVI	周産期に発生した病態	男						59								59	
		女						57								57	
		計						116								116	
XVII	先天奇形、変形および染色体異常	男				9	1	1	1	1	1	5		5		23	
		女					4	1	1		1	5		1		13	
		計					13	2	2	1	2	10		6		36	
XVIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男				5	4	5				97		2	2	115	
		女				17	7	2				99		1		126	
		計				22	11	7				196		3	2	241	
XIX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	男	1		3		7	182	5		441	58		67	2	766	
		女			4	1	4	127	1		586	83		63	1	870	
		計	1		7	1	11	309	6		1,027	141		130	3	1,636	
XXI	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	男					1		6			2			1	10	
		女							2			2		1		5	
		計					1		8			4		1	1	15	
XXII	特殊目的用コード	男						4		1		136				141	
		女						3	1			94				98	
		計						7	1	1		230				239	
総計		男	299	3	125	0	427	301	521	22	527	2,782	0	350	313	5,670	
		女	443	4	46	671	364	231	389	11	723	2,305	67	357	75	5,686	
		計	742	7	171	671	791	532	910	33	1,250	5,087	67	707	388	11,356	

疾病別・年齢別患者数(大分類)

ICD	国際分類大項目分類		0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	95-99歳	100-105歳	105歳-	合計	平均(歳)		
I	感染症および寄生虫症	男	7	2		2	9	9	4	9	3	2	2	2	6	5	6	12	15	15	13	3			1126	59		
		女	7		3	4	9	7	6	8	2	2	4	3	4	5	2	6	11	4	7	2	1		97	51		
		計	14	2	3	6	18	16	10	17	5	4	6	5	10	10	8	18	26	19	20	5	1		223	55		
II	新生物<腫瘍>	男							1	3	6	8	19	36	48	69	79	180	124	62	24	5			664	74		
		女				1	7	10	21	20	23	31	23	38	31	39	43	90	71	60	30	11			549	67		
		計				1	7	10	22	23	29	39	42	74	79	108	122	270	195	122	54	16			1,213	71		
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男					1				1		2	1	2	5	3	9	6	3	3				36	73		
		女						2					2		2	2	6	5	9	9	8	5			52	78		
		計					1	2				1	2	2	3	4	7	9	14	15	12	11	5			88	76	
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男	2	1	5			1	2	2	3	5	8	6	7	9	7	14	18	12	8				110	66		
		女	2	1		1		2		2	2	1	3	7	2		3	15	19	26	17	6	1		108	77		
		計	4	2	5	1		3	2	4	3	6	11	13	9	9	10	29	37	38	25	6	1		218	71		
V	精神および行動の障害	男		2	1		1							2	1	2		3			2	1				15	57	
		女						1												1	2					5	73	
		計		2	1		1	1							2	1	3		3		3	3				20	61	
VI	神経系の疾患	男	1	2	3	3	5	12	2	2	6	9	13	9	17	9	17	20	18	10	8	1			167	61		
		女	2	1	3		3	8	2	1	2	7	11	6	8	9	8	17	8	10	11	1			118	62		
		計	3	3	6	3	8	20	4	3	8	16	24	15	25	18	25	37	26	20	19	2			285	61		
VII	眼および付属器の疾患	男							1	2	1	8	10	7	30	21	29	75	62	29	24	1			300	75		
		女					2					3	9	8	13	51	43	119	88	75	31	4			446	77		
		計					2			1	2	11	19	15	43	72	72	194	150	104	55	5			746	76		
VIII	耳および乳様突起の疾患	男	6	9	2	1	2	2	1	3	9	13	9	9	13	6	5	18	4	6	2					120	52	
		女	5	7	2	1	3	3	1	6	9	10	15	9	9	19	11	25	23	14	7					179	61	
		計	11	16	4	2	5	5	2	9	18	23	24	18	22	25	16	43	27	20	9					299	58	
IX	循環器系の疾患	男					1	2	6	18	19	40	56	66	98	110	70	149	146	110	56	13	4		964	71		
		女				1	1	3	3	7	7	22	23	36	28	30	41	111	133	113	107	52	9	1	728	78		
		計				1	2	5	9	25	26	62	79	102	126	140	111	260	279	223	163	65	13	1	1,692	74		
X	呼吸器系の疾患	男	19	23	6	15	36	54	28	20	24	25	18	28	22	27	22	73	81	84	56	17	3		681	60		
		女	15	11	6	9	24	27	20	9	10	8	14	22	11	11	19	35	50	55	82	30	6	4	478	65		
		計	34	34	12	24	60	81	48	29	34	33	32	50	33	38	41	108	131	139	138	47	9	4	1,159	62		
XI	消化器系の疾患	男			4	3	7	18	29	24	32	47	48	50	69	78	79	122	102	90	28	14	1		845	66		
		女			1	6	5	16	18	14	18	24	24	28	25	36	32	73	104	134	86	23	3		670	73		
		計			5	9	12	34	47	38	50	71	72	78	94	114	111	195	206	224	114	37	4		1,515	69		
XII	皮膚および皮下組織の疾患	男		1			1	2			2	2	1	2	4	2	2	3	3	4	6	2				37	68	
		女		1	1			1	1	3	1					2	1	1	6	5	3	4	4	1		35	71	
		計		2	1		1	3	1	3	3	2	1	2	6	3	3	9	8	7	10	6	1			72	69	
XIII	筋骨格系および結合組織の疾患	男	2	2	2	5	5	3	1	5	4	4	7	10	14	7	12	15	20	7	8	2				135	62	
		女	4	1		4	4	3	1	2	1	8	8	13	21	23	8	45	33	32	12	8				231	70	
		計	6	3	2	9	9	6	2	7	5	12	15	23	35	30	20	60	53	39	20	10				366	67	
XIV	腎尿路生殖系系の疾患	男		1		2	1	9	4	9	11	9	23	15	20	27	31	57	56	33	39	8	1		356	71		
		女				2	14	15	10	9	18	18	11	10	13	21	10	39	49	52	44	11		1	347	68		
		計		1		4	15	24	14	18	29	27	34	25	33	48	41	96	105	85	83	19	1	1	703	70		
XV	妊娠、分娩および産じょく<褥>	男																								474	33	
		女						13	86	187	125	63															474	33
		計						13	86	187	125	63															474	33
XVI	周産期に発生した病態	男	59																							59	0	
		女	57																								57	0
		計	116																								116	0
XVII	先天奇形、変形および染色体異常	男	1	2			1	1	2	3	4	1	1	1	1	2			3							23	43	
		女	4			1	2				1			1	2			1	1							13	32	
		計	5	2		1	3	1	2	3	5	1	2	3	1	2	1	4								36	39	
XVIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男	4					1	1	3	5	1	4	5	10	5	10	15	20	19	11	1				115	71	
		女	5	1	1		3	2	1	1	2	4	4	6	4	6	3	13	24	15	21	7	3			126	72	
		計	9	1	1		3	3	2	4	7	5	8	11	14	11	13	28	44	34	32	8	3			241	72	
XIX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	男	84	61	52	41	15	17	25	20	36	44	35	38	45	28	30	55	45	40	41	14				766	46	
		女	61	60	20	11	14	19	6	9	15	18	32	43	37	45	41	96	105	99	94	37	8			870	62	
		計	145	121	72	52	29	36	31	29	51	62	67	81	82	73	71	151	150	139	135	51	8			1,636	54	
XXI	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	男										1	2		1	2	2	2								10	65	
		女																		2	2					5	74	
		計											1	2		1	2	2	2	2	2					15	68	
XXII	特殊目的用コード	男	4							2	2	1	3	4	4	5	16	31	34	26	9					141	80	
		女	2	1				2	1	2				2	2	3	2	3	17	23	20	12	5	1		98	82	
		計	6	1				2	1	2	2	2	1	5	6	7	7	19	48	57	46	21						

疾病別・在院日数別患者数(大分類)

ICD	国際分類大項目分類		1-7日	8-14日	15-31日	32-60日	61-90日	91-180日	181日以上	合計
I	感染症および寄生虫症	男	54	35	25	8	3	1		126
		女	51	29	11	6				97
		計	105	64	36	14	3	1		223
II	新生物<腫瘍>	男	320	165	126	39	14			664
		女	232	196	75	40	6			549
		計	552	361	201	79	20			1,213
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男	10	11	9	4	1	1		36
		女	12	17	18	4	1			52
		計	22	28	27	8	2	1		88
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男	36	36	32	5	1			110
		女	28	30	39	9	2			108
		計	64	66	71	14	3			218
V	精神および行動の障害	男	7	4	2	2				15
		女	3		1	1				5
		計	10	4	3	3				20
VI	神経系の疾患	男	85	43	27	9		3		167
		女	53	34	18	11	2			118
		計	138	77	45	20	2	3		285
VII	眼および付属器の疾患	男	297	2	1					300
		女	445	1						446
		計	742	3	1					746
VIII	耳および乳様突起の疾患	男	67	52	1					120
		女	130	48	1					179
		計	197	100	2					299
IX	循環器系の疾患	男	386	253	246	65	13	1		964
		女	249	156	250	63	9	1		728
		計	635	409	496	128	22	2		1,692
X	呼吸器系の疾患	男	261	226	141	49	3	1		681
		女	172	158	103	39	5	1		478
		計	433	384	244	88	8	2		1,159
XI	消化器系の疾患	男	476	239	104	21	5			845
		女	354	190	108	16	1		1	670
		計	830	429	212	37	6		1	1,515
XII	皮膚および皮下組織の疾患	男	5	12	13	4	2	1		37
		女	8	14	12	1				35
		計	13	26	25	5	2	1		72
XIII	筋骨格系および結合組織の疾患	男	43	32	46	10	3	1		135
		女	59	29	115	22	4	2		231
		計	102	61	161	32	7	3		366
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	男	168	83	79	21	4	1		356
		女	137	88	93	24	5			347
		計	305	171	172	45	9	1		703
XV	妊娠、分娩および産じょ<<褥>>	男								
		女	363	102	8	1				474
		計	363	102	8	1				474
XVI	周産期に発生した病態	男	27	31	1					59
		女	15	40	2					57
		計	42	71	3					116
XVII	先天奇形、変形および染色体異常	男	17	4	1	1				23
		女	10	1	1	1				13
		計	27	5	2	2				36
XVIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男	61	30	16	6	2			115
		女	68	30	18	9	1			126
		計	129	60	34	15	3			241
XIX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	男	510	122	105	26	3			766
		女	423	124	277	45		1		870
		計	933	246	382	71	3	1		1,636
XXI	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	男	3	4	3					10
		女	1	1	3					5
		計	4	5	6					15
XXII	特殊目的用コード	男	51	50	34	6				141
		女	36	34	19	9				98
		計	87	84	53	15				239
総計		男	2,884	1,434	1,012	276	54	10	0	5,670
		女	2,849	1,322	1,172	301	36	5	1	5,686
		計	5,733	2,756	2,184	577	90	15	1	11,356

# 河北リハビリテーション病院

## 入院診療実績

単位：人

	2022年度	2023年度	2024年度
入院患者延数	41,316	43,751	45,778
新入院患者数	648	681	693
1日平均患者数	113.2	119.5	125.4
前年比	90.3%	105.9%	104.6%
診療日数	365日	366日	365日

## 平均在院日数の推移

単位：日

	2022年度	2023年度	2024年度
平均在院日数	64.7	64.2	66.6

## 病床利用率の推移

病棟	2022年度	2023年度	2024年度
2階	83.7%	87.5%	93.1%
3階	86.7%	89.0%	92.0%
4階	80.9%	89.2%	93.3%
計	83.8%	88.5%	92.8%

## 外来診療実績

単位：人

	2022年度	2023年度	2024年度
外来患者延数	649	632	677
1日平均患者数	2.2	2.1	2.3
前年比	128.8%	97.4%	107.1%
診療日数	294日	294日	296日

## リハビリテーション実施件数の推移

単位：件

		2022年度	2023年度	2024年度
脳血管	入院	148,302	142,137	150,367
	外来	211	118	30
	計	148,513	142,255	150,397
廃用症候群等	入院	34,185	22,131	21,898
	外来	66	0	0
	計	34,251	22,131	21,898
運動器	入院	113,298	121,216	106,525
	外来	0	0	0
	計	113,298	121,216	106,525
合計	入院	295,785	285,484	278,790
	外来	277	118	30
	計	296,062	285,602	278,820
	月平均 前年比	24,672 81.8%	23,800 96.5%	23,235 97.6%

## STと看護師の共同作業

摂食機能療法	入院	2022年度	2023年度	2024年度
		1,934	1,310	1,101

## 臨床検査件数の推移

単位：件

		2022年度	2023年度	2024年度
一般	入院	2,623	2,666	2,604
	外来	1	0	12
	計	2,624	2,666	2,616
血液	入院	15,625	16,861	5,350
	外来	33	65	11
	計	15,658	16,926	5,361
免疫	入院	2,672	2,677	2,758
	外来	6	14	10
	計	2,678	2,691	2,768
生化学	入院	45,269	47,873	43,344
	外来	82	195	101
	計	45,351	48,068	43,445
生理機能	入院	647	713	722
	外来	0	1	0
	計	647	714	722
合計	入院	66,836	70,790	54,778
	外来	122	275	134
	計	66,958	71,065	54,912
	月平均 前年比	5,580 92.1%	5,922 106.1%	4,576 77.3%

## 画像診断検査件数の推移

単位：件

		2022年度	2023年度	2024年度
一般撮影	検査件数	2,722	2,852	2,386
	月平均	226.8	237.7	198.8
	前年比	89.3%	104.8%	83.7%
造影検査	検査件数	62	22	33
	月平均	5.2	1.8	2.8
	前年比	100.0%	35.5%	150.0%
CT検査	検査件数	561	446	557
	月平均	46.8	37.2	46.4
	前年比	67.5%	79.5%	124.9%

## 処方箋

単位：件

		2022年度	2023年度	2024年度
枚数(枚)	枚数	15,387	17,567	17,691
	月平均	1,282	1,464	1,474
	前年比	81.7%	114.2%	100.7%
調剤件数(件)	件数	48,420	53,939	57,647
	月平均	4,035	4,495	4,804
	前年比	90.6%	111.4%	106.9%
投薬日数(日)	日数	317,365	349,005	374,719
	月平均	26,447	29,084	31,227
	前年比	91.5%	110.0%	107.4%

## 注射処方箋

単位：件

		2022年度	2023年度	2024年度
枚数(枚)	枚数	1,374	1,027	1,298
	月平均	115	86	108
	前年比	110.4%	74.7%	126.4%
件数(件)	件数	2,550	1,712	2,399
	月平均	213	143	200
	前年比	85.9%	67.1%	140.1%
剤数(個)	日数	3,694	2,827	3,585
	月平均	308	236	299
	前年比	78.3%	76.5%	126.8%
薬剤管理指導	療養型件数	1	13	6
	回復型件数	1,109	1,163	1,312

## 栄養指導件数

単位：件

	2022年度	2023年度	2024年度
病棟訪問	6,355	6,747	3,930
栄養指導(加算のみ)	790	815	809

## 食数

単位：件

		2022年度	2023年度	2024年度
総食数	件数	120,454	126,246	136,524
	月平均	10,038	10,521	11,377
特別食	件数	31,396	45,998	40,543
	月平均	2,616	3,833	3,379
一般食	件数	89,208	80,248	95,385
	月平均	7,434	6,687	7,949

## 医療社会相談支援件数の推移

単位：件

	2022年度	2023年度	2024年度
入院	2,019	2,150	2,232
外来	0	7	85
その他	823	830	886
合計	2,842	2,987	3,203
月平均	236.8	248.9	266.9

疾病別・年齢別患者数(大分類)

単位:人

ICD	国際分類大項目分類		0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	95-99歳	100-105歳	105歳-	合計	平均(歳)	
I	感染症および寄生虫症	男女計																									
II	新生物<腫瘍>	男女計										1														1	48
		男女計										1														2	76
		計										1														3	66
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男女計																									
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男女計													1											1	62
		計													1											1	62
V	精神および行動の障害	男女計																									
VI	神経系の疾患	男女計														1	1	1	3	1	2					9	76
		男女計						1									2	2	1							6	69
		計						1							1	1	3	5	2	2						15	73
VII	眼および付属器の疾患	男女計																									
VIII	耳および乳様突起の疾患	男女計																									
IX	循環器系の疾患	男女計							1	2	1	5	8	7	8	10	18	19	10	4	8	1			102	70	
		男女計							1	2	1	5	1	1	4	6	5	15	14	12	12	2			78	77	
		計							1	2	2	10	9	8	12	16	23	34	24	16	20	3			180	73	
X	呼吸器系の疾患	男女計																									
XI	消化器系の疾患	男女計																									
XII	皮膚および皮下組織の疾患	男女計																									
XIII	筋骨格系および結合組織の疾患	男女計												1		1	7	11	6	14	5	2			47	82	
		男女計												3	2	4	9	5	18	20	2	1			64	80	
		計												4	2	5	16	16	24	34	7	3			111	81	
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	男女計																									
XV	妊娠、分娩および産じょく<褥>	男女計																									
XVI	周産期に発生した病態	男女計																									
XVII	先天奇形、変形および染色体異常	男女計																									
XVIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男女計																									
XIX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	男女計					1					2	1	4	6	2	11	11	20	22	14	4			98	79	
		男女計										1	2	2	2	5	11	32	49	75	60	30	5		274	86	
		計					1					3	3	6	8	7	22	43	69	97	74	34	5		372	84	
XXI	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	男女計																									
総計		男女計					1		1	2	1	8	9	12	15	14	37	44	37	42	27	7			257	71	
		男女計						1			1	6	3	6	9	15	27	56	82	107	74	33	5		425	75	
		計					1	1	1	2	2	14	12	18	24	29	64	100	119	149	101	40	5		682	73	

疾病別・在院日数別患者数(大分類)

単位:人

ICD	国際分類大項目分類		1-7日	8-14日	15-31日	32-60日	61-90日	91-180日	181日以上	合計
I	感染症および寄生虫症	男								
		女								
		計								
II	新生物<腫瘍>	男						1		1
		女				1		1		2
		計				1		2		3
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男								
		女								
		計								
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男								0
		女					1			1
		計					1			1
V	精神および行動の障害	男								
		女								
		計								
VI	神経系の疾患	男				5		4		9
		女			1	1	3	1		6
		計			1	6	3	5		15
VII	眼および付属器の疾患	男								
		女								
		計								
VIII	耳および乳様突起の疾患	男								
		女								
		計								
IX	循環器系の疾患	男	2	5	14	23	15	42	1	102
		女	3	1	9	12	25	28		78
		計	5	6	23	35	40	70	1	180
X	呼吸器系の疾患	男								
		女								
		計								
XI	消化器系の疾患	男								
		女								
		計								
XII	皮膚および皮下組織の疾患	男								
		女								
		計								
XIII	筋骨格系および結合組織の疾患	男	5		4	12	24	2		47
		女	1	4	5	28	23	3		64
		計	6	4	9	40	47	5		111
XIV	腎尿路生殖系系の疾患	男								
		女								
		計								
XV	妊娠、分娩および産後<褥>	男								
		女								
		計								
XVI	周産期に発生した病態	男								
		女								
		計								
XVII	先天奇形、変形および染色体異常	男								
		女								
		計								
XVIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男								
		女								
		計								
XIX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	男	5	7	11	23	48	4		98
		女	7	7	21	83	142	13	1	274
		計	12	14	32	106	190	17	1	372
XXI	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	男								
		女								
		計								
総計		男	12	12	29	63	87	53	1	257
		女	11	12	36	125	194	46	1	425
		計	23	24	65	188	281	99	2	682

## シーダ・ウォーク 利用者数の推移

単位：人

	2022年度	2023年度	2024年度
ロングステイ	32,618	33,472	32,090
ショートステイ	4,262	5,596	5,902
ステイ 計	36,880	39,068	37,992
1日平均	101.0	106.7	104.1
前年比	103.3%	105.9%	97.2%
稼働日数	365日	366日	365日
デイケア	10,289	10,265	9,681
1日平均	33.4	33.2	32.0
前年比	96.7%	99.8%	94.3%
稼働日数	308日	309日	303日

稼働率	ロングステイ	89.0%	96.3%	92.5%
	ショートステイ	97.3%	89.9%	95.1%
ステイ 計	90.2%	95.3%	92.9%	
平均介護度	デイケア	74.2%	73.8%	71.0%
	ロングステイ	3.1	3.2	3.2
	ショートステイ	3.3	3.3	3.4
平均利用日数	デイケア	2.4	2.5	2.6
	ロングステイ	432.6日	373.6日	298.0日
	ショートステイ	6.8日	6.8日	6.1日

## 河北透析クリニック 受診者数の推移

単位：人

	2022年度	2023年度	2024年度
受診者数	27,881	27,424	28,201
月平均	2,323	2,285	2,350
1日平均	88.8	87.6	90.1
前年比	93.5%	98.4%	102.8%
診療日数	313日	313日	313日

## 河北健診クリニック 受診者数の推移

単位：人

	2022年度	2023年度	2024年度	
一泊ドック	受診者延数	-	-	-
	1日平均患者数	-	-	-
	前年比	-	-	-
半日ドック	受診者延数	7,417	7,646	8,031
	1日平均患者数	25.5	26.1	27.5
	前年比	103.2%	103.1%	105.0%
成人・その他	受診者延数	12,652	14,066	16,130
	1日平均患者数	43.5	48.0	55.2
	前年比	106.1%	111.2%	114.7%
再検・精検	受診者延数	91	655	445
	1日平均患者数	0.3	2.2	1.5
	前年比	15.9%	719.8%	67.9%
総受診者数	受診者延数	20,160	22,367	24,606
	1日平均患者数	69.3	76.3	84.3
	前年比	102.4%	110.9%	110.0%
診療日数	291日	293日	292日	

## 河北ファミリークリニック南阿佐谷 利用実績

	2022年度	2023年度	2024年度	
訪問診療	訪問回数(回)	4,507	4,998	6,231
	利用者数(人)	2,317	2,539	3,263
外来診療	外来患者延数(人)	30,988	31,560	30,894
	小児予防接種(再掲)	310	283	368
検査科	採血件数(件)	9,075	9,702	9,158
画像診断科	単純撮影(件)	590	652	1,002
	超音波(件)	460	471	458
河北訪問看護・リハビリテーション阿佐谷	訪問回数(回)	17,301	14,882	15,407
	利用者数(人)	2,038	1,872	1,887

## 地域包括支援センター 利用実績

単位：件

	2022年度	2023年度	2024年度	
ケア24阿佐谷	介護保険(要支援)請求件数	2,649	2,634	3,031
	実態把握件数	757	787	-
	認定調査・その他	47	47	-
	相談受付	22,206	22,149	19,462
ケア24松ノ木	介護保険(要支援)請求件数	2,704	2,606	2,704
	実態把握件数	733	761	-
	認定調査・その他	-	-	-
	相談受付	13,999	14,241	12,751

## 河北居宅介護支援事業所南阿佐谷

単位：件

	2022年度	2023年度	2024年度
介護保険請求件数	971	1,349	1,465
認定調査件数	6	15	3

## 心のケアセンター

単位：件

	2022年度	2023年度	2024年度	
河北総合病院	自費カウンセリング	458	602	358
	心理査定	580	610	133
	コンサルテーション(病棟介入含む)	288	235	166
河北リハビリテーション病院	個別介入(家族介入含む)	321	301	205
	コンサルテーション(ラウンド含む)	707	429	349
	集団療法	136	177	179
シーダ・ウォーク	個別介入(家族介入含む)	86	118	174
	コンサルテーション(ラウンド含む)	659	647	404
	集団療法	169	185	173

## 歯科受診者数【医療法人社団 利光会 訪問歯科診療部】

単位：人

	2022年度	2023年度	2024年度	
河北総合病院	13	17	8	
河北リハビリテーション病院	584	558	566	
シーダ・ウォーク	1046	1106	848	
合計	延人数	1,643	1,681	1,422
	月平均	136.9	140.1	118.5

## 施設別稼働状況

単位:人 ※延べ人数

		2022年度	2023年度	2024年度	
入院・入所	天本病院	2階	14,117	12,997	14,133
		3階	15,171	14,812	15,542
		4階	16,236	16,998	17,199
		5階	11,086	10,799	10,288
		全在院数	56,610	55,606	57,162
		1日平均	155.0	151.0	156.6
	あい介護老人保健施設	入所(合計)	43,813	44,933	48,458
		短期(合計)	3,919	3,043	2,944
		入所+短期(合計)	47,732	47,976	51,402
		1日平均	130.8	131.1	140.8
		単月在宅復帰率	60.6%	57.6%	64.1%
6ヶ月平均在宅復帰率		64.1%	60.5%	59.5%	
あいグループホーム	どんぐり	6,375	6,517	6,446	
	天の川	6,503	6,478	6,490	

単位:件 ※延べ件数

		2022年度	2023年度	2024年度	
訪問看護ステーション	あい訪問看護ステーション	医療保険	6,016	5,904	5,783
		介護保険	11,416	12,313	11,960
		自費	87	169	94
		合計	17,519	18,386	17,837
	あい訪問看護ステーション平尾	医療保険	2,758	2,379	2,315
		介護保険	7,938	6,868	6,135
		自費	130	158	155
	合計	10,826	9,405	8,605	
	あい訪問看護ステーション中沢	医療保険	3,688	4,576	4,523
		介護保険	5,280	6,096	6,774
		自費	20	33	140
		合計	8,988	10,705	11,437

単位:人 ※実人数

		2022年度	2023年度	2024年度	
外来	天本病院	保険診療	9,583	6,198	7,612
		健診等	2,747	1,831	1,963
	あいクリニック	保険診療	21,056	19,932	18,091
		健診等	1,220	1,201	1,182
	あいクリニック中沢	保険診療	2,939	3,060	680
		健診等	137	139	0
	あいクリニック平尾	保険診療	1,019	775	635

単位:件

		2022年度	2023年度	2024年度	
デイケア	天本病院	介護予防(要支援実人数)	625	690	799
		介護予防(要介護延件数)	2,545	2,749	2,587
	あい介護老人保健施設	要支援実人数	794	1,112	1,049
		要介護延件数	10,378	10,332	10,140
	あいクリニック	要支援実人数	1,004	796	561
		要介護延件数	7,813	7,892	7,633
	桜ヶ丘いきいき元気センター	利用者延件数	1,057	887	856
	あいフィットネスサロンさくら	要支援実人数	571	820	981
		要介護延件数	4,324	4,352	4,767
		自費	0	0	0

単位:人 ※実人数

		2022年度	2023年度	2024年度	
訪問診療	あいクリニック	在宅	3,238	3,250	3,236
		施設	3,493	3,947	3,947
	あいクリニック中沢	在宅	1,160	1,213	1,277
		施設	1,169	1,249	1,426
	あいクリニック平尾	在宅	956	1,158	1,257
		施設	1,228	1,075	1,094

単位:人

		2022年度	2023年度	2024年度	
小規模多機能施設	あい看護小規模多機能施設ほたる	登録者数	317	301	287
		通い	4,819	4,689	4,493
		訪問(介護)	7,408	8,823	6,660
		訪問(看護)	807	1,043	1,071
	宿泊	1,877	1,790	1,683	
	あい小規模多機能施設かりん	登録者数	295	331	318
		通い	4,558	4,657	4,821
		訪問	7,380	10,531	9,346
		宿泊	1,749	2,064	2,018
	あい小規模多機能施設おきな	登録者数	204	220	283
		通い	2,848	2,422	4,003
		訪問	7,158	6,874	7,632
宿泊		135	221	755	
あい小規模多機能施設こもれび	登録者数	330	328	329	
	通い	5,046	5,330	4,863	
	訪問	6,304	6,983	7,645	
	宿泊	1,599	1,978	1,738	

単位:人 ※実人数

		2022年度	2023年度	2024年度	
居宅介護支援事業所	ケアプランセンターあいクリニック	ケアプラン	4,296	3,798	4,029
		認定調査	334	129	205
	ケアプランセンターあいクリニック中沢	ケアプラン	1,714	2,200	2,348
		認定調査	47	49	83
	ケアプランセンターあいクリニック平尾	ケアプラン	1,828	1,947	1,978
		認定調査	33	45	51

天本病院 平均在院日数の推移

単位:日

	2022年度	2023年度	2024年度
2階	42.8	40.2	43.9
3階	65.1	62.7	62.6
4階	627.2	973.5	982.8
5階	44.1	48.6	43.3

あい介護老人保健施設 利用者数の推移

単位:人

		2022年度	2023年度	2024年度
療養	入所	12,449	13,051	15,667
	短期	1,403	1,335	1,111
合計		13,852	14,386	16,778
在宅	入所	14,937	15,829	16,355
	短期	1,758	1,068	1,120
合計		16,695	16,897	17,475
認知症	入所	16,427	16,053	16,436
	短期	758	640	713
合計		17,185	16,693	17,149
入所 合計		43,813	44,933	48,458
短期 合計		3,919	3,043	2,944
入所+短期 合計		47,732	47,976	51,402
1日平均	入所	120.1	122.8	132.7
	短期	10.7	8.3	8.1
入所+短期 1日平均		130.8	131.4	140.8
前年比(%)	入所	99.4%	102.6%	107.8%
	短期	103.4%	77.6%	96.7%
入所+短期 前年比		99.7%	100.5%	107.1%
稼働日数		365日	366日	365日
デイケア		11,172	11,444	11,189
1日平均		43.3	44.5	43.7
前年比		100.5%	102.4%	97.8%
稼働日数		258日	257日	256日

稼働率	療養	75.9%	78.6%	92.0%
	在宅	91.5%	92.3%	95.7%
	認知症	94.2%	91.2%	94.0%
	計	87.2%	87.4%	93.9%
平均介護度	療養	4.2	3.6	3.7
	在宅	2.9	2.9	3.2
	認知症	3.4	3.0	3.3
	デイケア	2.1	2.2	1.9
平均利用日数	療養	273.2日	272.9日	266.5日
	在宅	268.9日	342.8日	258.7日
	認知症	387.3日	316.5日	280.9日
	計	309.8日	310.7日	268.7日

地域包括支援センター 利用実績

単位:件

			2022年度	2023年度	2024年度
多摩市 中部 地域 支援 センター	ケアプラン	包括作成	2,887	2,947	3,313
		委託作成	561	593	635
	電話相談		9,268	9,009	10,603
	来所相談		743	775	895
	訪問相談		2,475	2,349	2,478

天本病院 疾病別・診療科別患者数(大分類)

単位:人

ICD	国際分類大項目分類		内科	合計
I	感染症および寄生虫症	男	6	6
		女	7	7
		計	13	13
II	新生物	男	11	11
		女	12	12
		計	23	23
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男	2	2
		女	1	1
		計	3	3
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男	14	14
		女	25	25
		計	39	39
V	精神および行動の障害	男	5	5
		女	11	11
		計	16	16
VI	神経系の疾患	男	22	22
		女	32	32
		計	54	54
VII	眼および付属器の疾患	男		
		女		
		計		
VIII	耳および乳様突起の疾患	男		
		女		
		計		
IX	循環器系の疾患	男	67	67
		女	98	98
		計	165	165
X	呼吸器系の疾患	男	38	38
		女	29	29
		計	67	67
XI	消化器系の疾患	男	11	11
		女	13	13
		計	24	24
XII	皮膚および皮下組織の疾患	男		
		女	6	6
		計	6	6
XIII	筋骨格系および結合組織の疾患	男	18	18
		女	32	32
		計	50	50
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	男	5	5
		女	19	19
		計	24	24
XV	妊娠、分娩および産じょく<褥>	男		
		女		
		計		
XVI	周産期に発生した病態	男		
		女		
		計		
XVII	先天奇形、変形および染色体異常	男		
		女	1	1
		計	1	1
XVIII	症状、徴候および異常臨床所見、異常検査所見で他に分類されないもの	男	6	6
		女	4	4
		計	10	10
XIX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	男	66	66
		女	129	129
		計	195	195
XXI	健康状態に影響をおよぼす要因および保険サービスの利用	男	3	3
		女	6	6
		計	9	9
XXII	特殊目的	男	18	18
		女	14	14
		計	32	32
総計		男	292	292
		女	439	439
		計	731	731

天本病院 疾病別・年齢別患者数(大分類)

単位:人

ICD	国際分類大項目分類		0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	95-99歳	100-104歳	105歳-	合計	平均(歳)			
I	感染症および寄生虫症	男																	1	4	1				6	87			
		女							1									1	2	2	2	1				7	77		
		計							1									1	3	4	3	1				13	81		
II	新生物	男															1	2	1	2	2	3				11	81		
		女															1		1	3	5	2				12	84		
		計															2	2	2	5	7	5				23	83		
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男																		1	1					2	90		
		女																									1	73	
		計																			1	1					3	84	
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男																	3	5	3	3				14	85		
		女																2	4	10	5	4				25	82		
		計																2	4	3	15	8	7			39	83		
V	精神および行動の障害	男																	1	3			1			5	87		
		女																	2	1	4	3	1			11	88		
		計																	3	1	7	3	2			16	88		
VI	神経系の疾患	男								1	1			1	2			5	2	4	4	2				22	74		
		女															1	4	4	12	3	8				32	83		
		計									1	1			1	2	1	9	6	16	7	10				54	79		
VII	眼および付属器の疾患	男																											
		女																											
		計																											
VIII	耳および乳様突起の疾患	男																											
		女																											
		計																											
IX	循環器系の疾患	男								1				2	4	7	4	10	13	20	6					67	79		
		女													2	3	7	7	18	31	20	9	1			98	85		
		計									1				2	6	10	11	17	31	51	26	9	1		165	83		
X	呼吸器系の疾患	男																2	5	8	13	9	1			38	85		
		女																	4	3	7	13	1	1		29	88		
		計																	2	9	11	20	22	2	1		67	86	
XI	消化器系の疾患	男																1	4	1	4	1				11	83		
		女																	1	3	3	4	2			13	84		
		計																	2	7	4	8	3			24	83		
XII	皮膚および皮下組織の疾患	男																											
		女																		4			2				6	86	
		計																		4			2				6	86	
XIII	筋骨格系および結合組織の疾患	男													1	1	1	4	6	2	3					18	81		
		女															1	1	4	10	9	5	2			32	84		
		計														1	2	2	8	16	11	8	2			50	83		
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	男																		2	2	1				5	88		
		女																		5	8	4	2			19	87		
		計																		7	10	5	2			24	87		
XV	妊娠、分娩および産じょく褥	男																											
		女																											
		計																											
XVI	周産期に発生した病態	男																											
		女																											
		計																											
XVII	先天奇形、変形および染色体異常	男																											
		女																					1				1	90	
		計																					1				1	90	
XVIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男																1		2	1	1				6	88		
		女																			2	2					4	89	
		計																		1	4	3	1				10	88	
XIX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	男													1	1	2	4	25	19	13	1				66	85		
		女															1	6	11	36	46	21	8			129	85		
		計														1	2	8	15	61	65	34	9			195	85		
XXI	健康状態に影響をおよぼす要因および保険サービスの利用	男											1						2							3	74		
		女																	1	1	2	1				6	82		
		計												1					1	1	3	2	1			9	79		
XXII	特殊目的	男											1						5	8	3	1				18	85		
		女																		3	5	4	2			14	89		
		計												1					8	13	7	3				32	87		
総計		男							1	1	1	1	1	4	8	10	18	34	75	87	47	5			292	60			
		女														2	9	26	37	111	131	94	26	2		439	68		
		計								1	1	1	1	1	4	10	19	44	71	186	218	141	31	2		731	64		

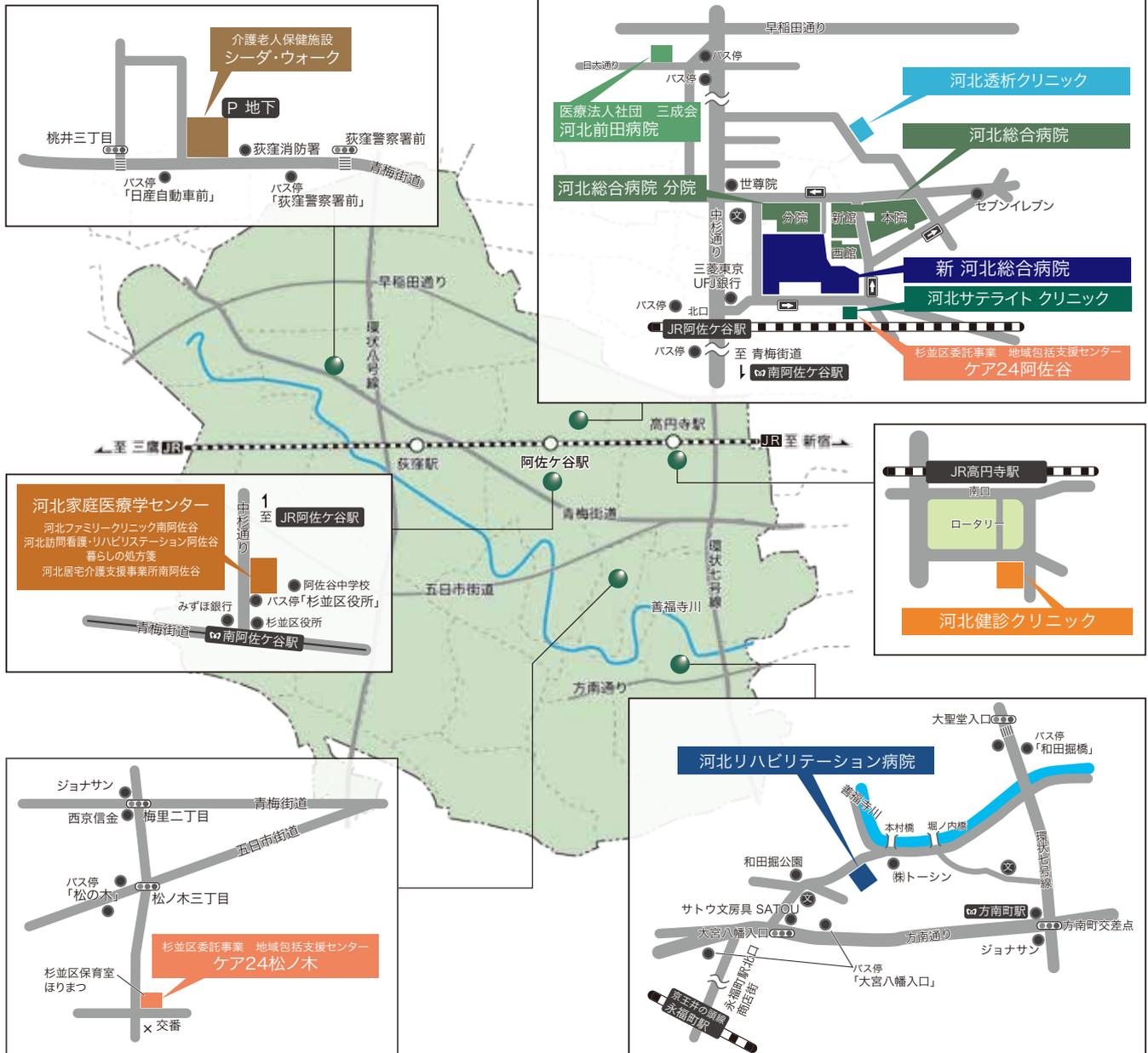
# 財団概要

法人名称	社会医療法人 河北医療財団		
理事長	河北 博文		
財団施設	河北総合病院	院長	鎌田 孝一
	河北透析クリニック	院長	青木 尚子
	河北健診クリニック	院長	金澤 實
	河北リハビリテーション病院	院長	宮村 紘平
	河北サテライト クリニック	院長	岡井 隆広
	介護老人保健施設 シーダ・ウォーク	施設長	吉田 晴彦
	河北ファミリークリニック南阿佐谷	院長	塩田 正喜
	あい介護老人保健施設	施設長	明石 のぞみ
	天本病院	院長	及能 克宏
	あいクリニック	院長	濱谷 弘康
	あいクリニック平尾	院長	奥村 光絵
	あいクリニック中沢	院長	佐藤 清貴
財団職員総数	2,696人：内常勤職員数 1,913人(杉並事業部1,424人・多摩事業部489人) (内訳：常勤)医師173人、看護師678人、セラピスト256人		
設立	1928年(昭和3年)5月 私立河北病院開設 1950年(昭和25年)12月 医療法人財団河北病院認可 2010年(平成22年)10月 社会医療法人 河北医療財団認定 2016年(平成28年)12月 医療法人財団天翁会と合併		
特長	○1998年(平成10年)5月 環境マネジメントシステムISO14001認証 ○KES・環境マネジメントシステム・スタンダードステップ2 2008年(平成20年)1月より継続更新中		

2025年6月現在

# 施設・事業所案内地図／連絡先一覧

杉並エリア



河北総合病院	〒166-8588 東京都杉並区阿佐谷北1-6-1 TEL.03-3339-2121
河北総合病院 分院 (2025年5月開院)	〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-6-20 TEL.03-3339-0606
河北サテライト クリニック	〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-3-12 TEL.03-3339-0808
河北リハビリテーション病院	〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内1-9-27 TEL.03-5307-5151
介護老人保健施設 シーダ・ウォーク	〒167-0034 東京都杉並区桃井3-4-9 TEL.03-5311-6262
河北健診クリニック (2026年1月 河北総合病院へ移転予定)	〒166-0003 東京都杉並区高円寺4-27-12 三井住友銀行高円寺ビル5階(受付) TEL.03-5377-2511(予約) 03-5377-2811(代表)
河北透析クリニック	〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-18-9 TEL.03-3336-2500

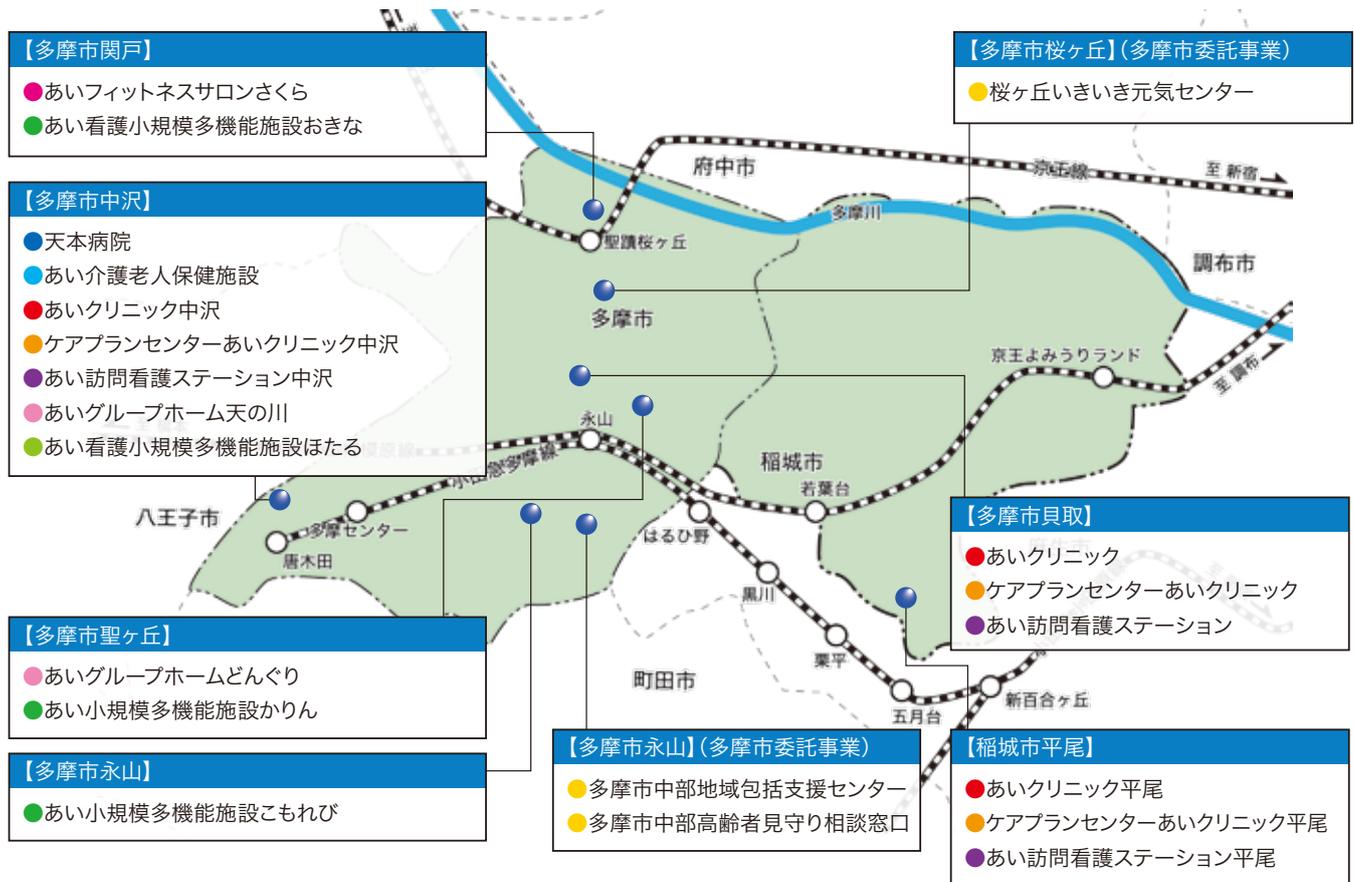
河北家庭医療学センター	〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-16-8 ISM ASAGAYA TEL.03-5913-7974(6階)
河北ファミリークリニック南阿佐谷	TEL.03-5356-7160(3~5階)
河北訪問看護・リハビリテーション阿佐谷	TEL.03-5913-7977(6階)
暮らしの処方箋	TEL.03-5913-9214(8階)
河北居宅介護支援事業所南阿佐谷	TEL.03-5913-7038(6階)

## 【杉並区委託事業】

地域包括支援センター ケア24阿佐谷	〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-3-12 樺ビルディングB館1階 TEL.03-3339-1588
地域包括支援センター ケア24松ノ木	〒166-0014 東京都杉並区松ノ木3-3-4 TEL.03-3318-8530

## 【提携施設】

医療法人社団 三成会 河北前田病院	〒167-0031 東京都杉並区本天沼1-2-1 TEL.03-3330-0384
----------------------	--



- 【多摩市関戸】
- あいフィットネスサロンさくら
  - あい看護小規模多機能施設おきな

- 【多摩市中沢】
- 天本病院
  - あい介護老人保健施設
  - あいクリニック中沢
  - ケアプランセンターあいクリニック中沢
  - あい訪問看護ステーション中沢
  - あいグループホーム天の川
  - あい看護小規模多機能施設ほたる

- 【多摩市聖ヶ丘】
- あいグループホームどんぐり
  - あい小規模多機能施設かりん

- 【多摩市永山】
- あい小規模多機能施設こもれび

- 【多摩市桜ヶ丘】(多摩市委託事業)
- 桜ヶ丘いきいき元気センター

- 【多摩市貝取】
- あいクリニック
  - ケアプランセンターあいクリニック
  - あい訪問看護ステーション

- 【多摩市永山】(多摩市委託事業)
- 多摩市中部地域包括支援センター
  - 多摩市中部高齢者見守り相談窓口

- 【稲城市平尾】
- あいクリニック平尾
  - ケアプランセンターあいクリニック平尾
  - あい訪問看護ステーション平尾

【多摩市中沢】

● 天本病院	〒206-0036 東京都多摩市中沢2-5-1 TEL.042-310-0333
● あい介護老人保健施設	〒206-0036 東京都多摩市中沢1-17-38 TEL.042-374-7111
● あいクリニック中沢	〒206-0036 東京都多摩市中沢2-5-3 ゆいま〜る中沢A棟1階
● ケアプランセンター あいクリニック中沢	TEL.● 042-311-2820 ● 042-311-0933
● あい訪問看護ステーション 中沢	● 042-311-2822
● あいグループホーム天の川	〒206-0036 東京都多摩市中沢2-5-3 ゆいま〜る中沢B棟2階 TEL.042-311-0176
● あい看護小規模多機能施設 ほたる	〒206-0036 東京都多摩市中沢2-5-3 ゆいま〜る中沢B棟3階 TEL.042-357-1870

【多摩市聖ヶ丘】

● あいグループホーム どんぐり	〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘2-21-2 ゆいま〜る聖ヶ丘C棟1階 TEL.042-357-3801
● あい小規模多機能施設 かりん	〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘2-20-6 ゆいま〜る聖ヶ丘B棟1階 TEL.042-357-4101

【多摩市永山】

(多摩市委託事業) ● 多摩市中部地域 包括支援センター	〒206-0025 東京都多摩市永山4-2-5-105 TEL.042-375-0017
● 多摩市中部高齢者 見守り相談窓口	TEL.042-357-8877
● あい小規模多機能施設 こもれび	〒206-0025 東京都多摩市永山3-12-1 多摩市西永山福祉施設 TEL.042-400-1071

【多摩市関戸】

● あいフィットネスサロン さくら	〒206-0011 東京都多摩市関戸1-2-11 スマイラス聖蹟桜ヶ丘1階
● あい看護小規模多機能施設 おきな	TEL.● 042-311-5445 ● 042-311-5447

【多摩市桜ヶ丘】(多摩市委託事業)

● 桜ヶ丘いきいき 元気センター	〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘2-1-1 TEL.042-311-7300
---------------------	--

【多摩市貝取】

● あいクリニック	〒206-0012 東京都多摩市貝取1431-3
● ケアプランセンター あいクリニック	あい在宅複合施設 TEL.● 042-375-9581 ● 042-375-9598
● あい訪問看護ステーション	● 042-371-6888

【稲城市平尾】

● あいクリニック平尾	〒206-0823 東京都稲城市平尾3-7-4
● ケアプランセンター あいクリニック平尾	コーシャハイム平尾1階 TEL.● 042-350-5062 ● 042-318-1826
● あい訪問看護ステーション 平尾	● 042-350-8615

# 各施設概要

施設基準情報等はQRコードからホームページをご確認ください  
※ QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

- 河北総合病院  
(2025年7月開院)



- 河北リハビリテーション病院



- 河北健診クリニック



- 河北訪問看護・リハビリ  
ステーション阿佐谷



- 介護老人保健施設  
シーダ・ウォーク



- 河北サテライト クリニック



- 河北透析クリニック



- 河北ファミリークリニック  
南阿佐谷



- 河北居宅介護支援事業所  
南阿佐谷



- 天本病院



- あいクリニック平尾



- あい介護老人保健施設



- あいクリニック



- あいクリニック中沢



# 学会・論文発表

■所属/氏名/学会名・媒体名/題目

2024年 4月	<ul style="list-style-type: none"><li>■耳鼻咽喉科・頭頸部外科/篠原 宏、清水 啓成/口腔・咽喉科2024:37(1):37-42/鼻咽腔電子内視鏡による食道内腔の観察法</li><li>■耳鼻咽喉科・頭頸部外科/中野 光花、高田 由香、篠原 宏、清水 啓成/口腔・咽喉科 2024:37(1):43-47/重度の口腔・咽喉頭粘膜びらんと骨髄異形成症候群の原因としてメトトレキサートが疑われた1例</li><li>■産婦人科/古川 誠志/ペリネイタル ケア/最新 図解でよくわかる お母さんと赤ちゃんの生理とフィジカルアセスメント 第2章 分娩期 バイタルサイン P78-81</li><li>■産婦人科/古川 誠志/ペリネイタル ケア/最新 図解でよくわかる お母さんと赤ちゃんの生理とフィジカルアセスメント 第2章 分娩期 陣痛 P82-85</li><li>■産婦人科/古川 誠志/ペリネイタル ケア/最新 図解でよくわかる お母さんと赤ちゃんの生理とフィジカルアセスメント 第2章 分娩期 児心拍 P87-91</li><li>■放射線腫瘍科/Ohmatsu K, Omatsu T, Okonogi N, Ikoma Y, Murata K, Kishimoto R, Obata T, Yamada S, Karasawa K./Int J Part Ther/Changes in Intratumor Blood Flow After Carbon-Ion Radiation Therapy for Early-Stage Breast Cancer.</li><li>■腎臓内科、リウマチ・膠原病内科/岡井隆広、松本拓実、小林晶子、青木尚子/第68回日本リウマチ学会総会・学術集会/関節リウマチ患者におけるメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患でみられた再発例の検討</li></ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"><li>■小児科/勝盛宏/第65回日本小児神経学会学術集会/WISC-IV言語理解指標VCI 130以上の児童に関する医療相談について</li><li>■整形外科/湯浅崇仁、鎌田孝一、小林光太、福里晋、寺本洋平、今野雄太/第97回日本整形外科学会学術総会/人工股関節全置換術患者の術後早期回復の取り組み</li><li>■整形外科/湯浅崇仁、鎌田孝一、小林光太、福里晋、寺本洋平、今野雄太/第97回日本整形外科学会学術総会/大腿骨近位部骨折に対する早期手術治療と術後成績の検討</li><li>■眼科/Goto H, Taketani Y, Ono T, Abe Y, Kimakura M, Toyono T, Aihara M, Miyai T./ARVO 2024 視覚と眼科学研究協会年次総会 The ARVO Annual Meeting/Anterior and posterior irregular astigmatism in limbal stem cell deficiency by using anterior segment optical coherence tomography</li><li>■糖尿病・内分泌代謝内科/樋口誠一郎、荒木学、秋山義隆、吉田勢津子/第67回日本糖尿病学会年次学術集会/高血糖を契機に診断された遺伝性圧脆弱性ニューロパチー(HNPP)の一例</li><li>■河北リハビリテーション病院 看護部/小澤一輝/第12回日本感染管理ネットワーク学会/回復期リハビリテーション病院における直接観察法導入後の評価と職種間での比較</li><li>■産婦人科/鈴木 夏生、上原 ゆり子、安達 卓哉、藤田 侑里、大野 珠美、大橋 昌尚、山田 陽子、古川 誠志、三島 みさ子/東京産科婦人科学会誌 73巻1号 P63-67/黄体化過剰反応を合併した臨床的侵入奇体の1例</li><li>■産婦人科/鈴木 夏生、古川 誠志、安達 卓哉、藤田 侑里、大野 珠美、大橋 昌尚、上原 ゆり子、山田 陽子、三島 みさ子/東京産科婦人科学会誌 73巻1号 P14-19/都内中規模病院で経験した新型コロナウイルス感染症妊婦の背景</li><li>■救急集中治療科/前田敦雄/日本医師会雑誌/【環境要因関連疾患の病態と治療】マスクと熱中症.</li></ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"><li>■腎臓内科/岡井隆広、宮沢光太郎、横山陽一、銭谷慕子、須藤裕嗣、青木尚子、根岸康介、林松彦/第69回日本透析医学会学術集会・総会/CKD地域連携が計画的透析導入に与える影響</li><li>■腎臓内科、心臓血管外科/横山陽一、根岸康介、宮沢光太郎、銭谷慕子、須藤裕嗣、林松彦、岡井隆広、池田司/第69回日本透析医学会学術集会・総会/腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術後に急性腎障害をきたした剖検例</li><li>■腎臓内科、リウマチ膠原病内科/岡井隆広、中村茂樹、角田裕美、倉島篤行/第98回日本感染症学会学術講演会/非結核性抗酸菌症、関節リウマチ、シェーグレン症候群に併発したAAアミロイドーシスの一例</li><li>■腎臓内科/岡井隆広、宮沢光太郎、横山陽一、銭谷慕子、須藤裕嗣、青木尚子、根岸康介、林松彦/第67回日本腎臓学会学術総会/CKD手帳を用いたCKD医療連携の有効性の検討</li><li>■耳鼻咽喉科・頭頸部外科/篠原宏、齊藤優仁、清水啓成/第86回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会/顔面神経麻痺を伴わない不全型Hunt症候群(HaymannIV型)の2例</li><li>■消化器外科/吉田宇杏、園田寛道/第49回日本外科系連合学会学術集会/外科系医師をめざすにあたり</li><li>■消化器外科/代永和秀、園田寛道、梅谷直亨、田村徳康、箱崎智樹、中西彬人/第49回日本外科系連合学会学術集会/胃X線検査後に生じたS状結腸穿通の1例</li><li>■消化器外科/園田寛道、箱崎智樹、代永和秀、田村徳康、梅谷直亨/第46回日本癌局所療法研究会/地域一般病院でおこなう直腸癌に対するTNT</li><li>■消化器外科/和氣仁美、梅谷直亨、田波秀朗、水野雅文/第120回日本精神神経学会学術総会/精神科患者における直腸脱手術の取り組み</li><li>■あいくリニック/栗林泰子/第29回日本緩和医療学会学術大会/小規模多機能居宅介護施設で認知症合併のがん治療から終末期までを過ごし訪問診療医で早期からの緩和ケアと意思決定支援を実現できた一例</li><li>■リハビリテーション科/加藤冬樹/第61回日本リハビリテーション医学会学術集会/十二指腸穿孔に対する手術後に重症筋無力症のクリーゼをきたした一例</li><li>■河北リハビリテーション病院 セラピー部/落合克典、森山広樹、黒田慶子、宮村紘平/第61回日本リハビリテーション医学会学術集会/鉛中毒による上肢優位の末梢神経障害を呈した症例の復健に向けた長期的取り組み</li><li>■河北リハビリテーション病院 看護部/小澤一輝/第61回日本リハビリテーション医学会学術集会/主旨衛星直接観察法導入初年度の結果報告</li><li>■河北リハビリテーション病院 看護部/設楽久乃、宮村紘平/第61回日本リハビリテーション医学会学術集会/回復期リハビリテーション病院における退院支援看護師の取り組みと今後の課題</li><li>■河北リハビリテーション病院 診療部/宮村紘平、池田沙穂、畑中麻衣、大淵恵、安保 雅博/第61回日本リハビリテーション医学会学術集会/高圧型酸素ドーム使用による疲労回復効果に関する検討</li><li>■河北リハビリテーション病院 診療部/大淵恵、宮村紘平、畑中麻衣、池田沙穂、安保雅博/第61回日本リハビリテーション医学会学術集会/大脳基底核梗塞後に生じた周期性四肢運動障害が疑われる不随意運動の治療経験</li><li>■河北透析クリニック 臨床工学科、腎臓内科/三枝拓夫、田中待子、小幡亜妃、須藤裕嗣、青木尚子/第69回日本透析医学会学術集会・総会/透析クリニックCEによるVA/VT業務への介入</li><li>■あいくリニック/栗林泰子/第29回日本緩和医療学会学術大会/小規模多機能居宅介護施設で認知症合併のがん治療から終末期までを過ごし訪問診療医で早期からの緩和ケアと意思決定支援を実現できた一例</li><li>■救急集中治療科/Miyamoto K, Takayasu H, Katsuki S, Maeda A, Suzuki K, Nakamura M, Hida N, Sambe T, Yagi M, Sasaki J, Hayashi M, Dohi K.J Clin Med/Reply to Maxwell, A. Comment on "Miyamoto et al. Laryngopharyngeal Mucosal Injury Due to Nasogastric Tube Insertion during Cardiopulmonary Resuscitation: A Retrospective Cohort Study.</li></ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"><li>■循環器内科/片野皓介/第70回日本不整脈心電学会学術大会/The impact of syncope-to-ILR days for diagnosis of the cause of syncope</li><li>■循環器内科/片野皓介/CVIT2024 第32回日本心血管インターベンション治療学会学術集会/A Case of an Allergy to Low Molecular Weight Dextran in OCT-Guided PCI</li><li>■救急集中治療科/広瀬大輝、永樂学、栗原茉莉子、森ちひろ、中島靖浩、前田敦雄、林宗貴、土肥謙二/第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会/原因としてCOVID-19感染を疑ったTENの一例</li><li>■救急集中治療科/栗原茉莉子、中島靖浩、森ちひろ、前田敦雄、林宗貴、土肥謙二/第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会/水中毒による低Na血症の緩徐な補正に持続バソプレシンが有効であった一例</li><li>■救急集中治療科/井上広太郎、中島靖浩、森ちひろ、栗原茉莉子、原野康平、高安弘美、前田敦雄、林宗貴/第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会/ステロイドパルスを施行したが著効せず死亡した重症COVID-19肺炎の1例</li><li>■救急集中治療科/永樂学、栗原茉莉子、前田敦雄、森ちひろ、中島靖浩、林宗貴、土肥謙二/第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会/重症急性膵炎と内臓脂肪面積との関連についての調査</li><li>■救急集中治療科/森ちひろ、永樂学、栗原茉莉子、中島靖浩、前田敦雄、林宗貴、土肥謙二/第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会/診断に難渋した鈍の外傷による単独胆嚢損傷の一例</li><li>■救急集中治療科/飯島章子、森ちひろ、永樂学、栗原茉莉子、中島靖浩、前田敦雄、林宗貴、土肥謙二/第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会/バイク事故で精巣破裂を生じて摘除術をおこなった一例</li><li>■救急集中治療科/櫻井馨、前田敦雄、明石嘉浩、阿古潤哉、伊苺裕二、海老名俊明、田村功一、並木淳郎、福井和樹、道下一朗、木村一雄、鈴木洋/CVIT2024 第32回日本心血管インターベンション治療学会学術集会/K-ACTIVEにおける課題 急性心筋梗塞患者におけるデータ品質と欠損値の概要</li></ul>

# 学会・論文発表

■所属／氏名／学会名・媒体名／題目

7月	<ul style="list-style-type: none"><li>■救急集中治療科／原島健也、瀬之口真美、竹内一貴、河北光、八嶋朋子、古畑謙、内野正人／第74回日本病院学会／診療報酬の観点から見た保健医療機関に所属する救急救命士の現状と課題</li><li>■消化器外科／園田寛道、田村徳康、代永和秀、箱崎智樹、中西彬人、梅谷直亨／第79回日本消化器外科学会総会／超高齢者大腸癌に対する手術適応を考える</li><li>■放射線腫瘍科／唐澤久美子／第32回日本乳癌学会学術総会／早期乳癌に対する炭素イオン線治療の臨床研究の中間評価</li><li>■あいきりニック／栗林泰子／第6回日本在宅医療連合学会大会／三位一体(訪問診療・訪問看護・ケアマネジャー)のチーム力を高めるデスカンファレンスと医師の役割</li><li>■薬剤部／高島啓輔／第10回日本医薬品安全性学会学術大会／薬剤師関連業務におけるデジタルAI利活用現状</li><li>■臨床工学科／上原尚利／第70回日本不整脈心電学会学術大会／非肺静脈性心房期外収縮の起源同定にSinus mapが有用であった症例</li><li>■河北リハビリテーション病院セラピー部／植原沙織／第20回東京都作業療法学会／脳梗塞患者の独居生活再開を目指した作業療法の介入—自宅トイレでの排泄自立をめざして—</li><li>■河北リハビリテーション病院セラピー部／石田奈穂／第20回東京都作業療法学会／主体性の回復に応じた上肢機能に対する自主練習指導方法の検討</li><li>■あいきりニック／栗林泰子／第6回日本在宅医療連合学会大会／三位一体(訪問診療・訪問看護・ケアマネジャー)のチーム力を高めるデスカンファレンスと医師の役割</li></ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"><li>■河北リハビリテーション病院セラピー部／堀内健太郎／ECVP2024 European conference on visual perception/impacts of peripheral optical flow generated by body sway during quiet standing</li><li>■脳神経内科／荒木 学／Multiple Sclerosis and Related Disorders/Clinical practice guidelines for multiple sclerosis, neuromyelitis optica spectrum disorder, and oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated disease 2023 in Japan.</li><li>■救急集中治療科／Miyamoto K, Sakakibara M, Yamaga H, Maeda A, Yagi M, Dohi K./Heliyon/Abdominal aortic injury caused by a sharp osteophyte displaced by a compression fracture</li></ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"><li>■腎臓内科／鈴木美里亜、宮沢光太郎、横山陽一、銭谷慕子、須藤裕嗣、根岸康介、林松彦、岡井隆広／第54回日本腎臓学会東部学術大会／DIC とともに二次性 TMA を合併した敗血症性ショックの一例</li><li>■腎臓内科／宮沢光太郎、鈴木美里亜、横山陽一、銭谷慕子、青木尚子、根岸康介、岡井隆広、林松彦／第54回日本腎臓学会東部学術大会／脂質異常症治療強化が蛋白尿抑制に有効であったリポ蛋白糸球体症の一例</li><li>■耳鼻咽喉科・頭頸部外科／勅使河原理沙、篠原宏、清水啓成／第37回日本口腔・咽喉科学会 総会ならびに学術講演会／咽頭痛、頸部痛で受診した縦隔気腫の一例</li><li>■救急集中治療科／竹内一貴、谷内優介、原島健也、瀬之口真美、古畑謙、佐藤由里子、内野正人／第65回全日本病院学会／病院救急車にて迎え搬送した急性心筋炎の1例</li><li>■リハビリテーション科／渡邊翔大／第43回東京都理学療法学会学術大会／両側変形性股関節症の股関節伸展可動域と歩容の関係性について～歩行でのMST～TSTに着目～</li><li>■心臓血管外科／Tsukasa Ikeda, Masateru Uchiyama, Naomi Ozawa, Tomohiro Imazuru and Tomoki Shimokawa/Journal of Cardiothoracic Surgery (2024) 19:523/A retrospective study on safety and efficacy of recombinant human soluble thrombomodulin to acute aortic dissection with disseminated intravascular coagulation</li></ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"><li>■脳神経内科／荒木学／第36回日本神経免疫学会学術集会／NMOSDの新たな治療戦略と今後の展望～補体阻害療法を中心に～</li><li>■整形外科／湯浅宗仁、鎌田孝一、小林光太、福里晋、寺本洋平、今野雄太／第51回日本股関節学会学術集会／大腿骨近位部骨折に対する早期手術治療と術後成績の検討</li><li>■救急集中治療科／佐々木純、中島靖浩、高安弘美、前田敦雄、鈴木恵輔、井上元、宮本和幸、林宗貴、土肥謙二／第52回日本救急医学会総会・学術集会／大学病院2次救急施設での働き方改革の取り組み</li><li>■救急集中治療科／前田敦雄、宮本和幸、廣瀬正樹、石井道人、土肥謙二／第53回日本救急医学会総会・学術集会／穏やかなキャリアチェンジを兼ねたスマートな総合診療の研鑽</li><li>■救急集中治療科／広瀬大輝、原野康平、飯島章子、榎原真子、柳澤薫、山荷大貴、高安弘美、中島靖浩、前田敦雄、土肥謙二、林宗貴／第54回日本救急医学会総会・学術集会／エチレングリコール中毒における、浸透圧ギャップの測定が治療介入に有用だった1例</li><li>■救急集中治療科／岩本泰樹、井上元、菊地一樹、富田佳賢、榎原真子、永樂学、島田拓哉、川上ちひろ、柳澤薫、山荷大貴、屋間楓、杉本達也、原野康平、鈴木恵輔、垂水庸子、中島靖浩、前田敦雄、宮本和幸、八木正晴、土肥謙二／第55回日本救急医学会総会・学術集会／糖尿病性ケトアシドーシスに浸透圧性脱髄症候群を合併した一例</li><li>■救急集中治療科／中島靖浩、山荷大貴、高安弘美、前田敦雄、林宗貴、土肥謙二／第56回日本救急医学会総会・学術集会／当院で発生した重大な中心静脈カテーテル合併症の考察</li><li>■救急集中治療科／山荷大貴、広瀬大輝、飯島章子、榎原真子、原野康平、高安弘美、中島靖浩、前田敦雄、林宗貴、土肥謙二／第57回日本救急医学会総会・学術集会／当院における重症外傷患者の応需時における緊急手術稼働確保の必要性についての後ろ向き研究</li><li>■救急集中治療科／飯島章子、山荷大貴、柳澤薫、榎原真子、原野康平、高安弘美、中島靖浩、前田敦雄、林宗貴、土肥謙二／第58回日本救急医学会総会・学術集会／劇症型溶連菌感染症に敗血症性心筋症を合併し、補助循環を使用せずに救命出来た一例</li><li>■救急集中治療科／光成友希、中島靖浩、栗原茉莉子、高安弘美、前田敦雄、林宗貴、土肥謙二／第59回日本救急医学会総会・学術集会／死因としてREBOAによる合併症が示唆された重傷多発外傷の1例</li><li>■河北リハビリテーション病院セラピー部／岡田美佑、犬塚結、波多野陽子／リハビリテーション・ケア合同研究大会／回復期病院に入院中の課題に対して集団活動がもたらした効果</li><li>■河北リハビリテーション病院セラピー部／落合克典、大澤智恵子、稲垣京司、澤本陽平／リハビリテーション・ケア合同研究大会／当院におけるアウトカムの傾向性からみた 財団内の施設間連携</li><li>■河北リハビリテーション病院 ソーシャルワーク科／土山緑／一般社団法人 日本家族療養学会 第41回 金沢大会／医療ソーシャルワーカーへのグループスーパーヴィジョン: スーパーヴァイザーのニーズと達成課題の分析</li><li>■救急集中治療科／原島 健也、瀬之口 真美、竹内 一貴、河北 光、八嶋 朋子、古畑 謙、内野正人／全日本病院協会雑誌第35巻第1号／当院における病院救急車の安全な運用への取り組み</li></ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"><li>■腎臓内科、リウマチ・膠原病科／相山由実、鈴木美里亜、宮沢光太郎、横山陽一、銭谷慕子、須藤裕嗣、根岸康介、浅妻直樹、岡井隆広、林松彦／日本内科学会第700回関東地方会／早期診断によるカブラシマブ導入で著明に改善した後天性血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)の1例</li><li>■脳神経内科／荒木学／第42回日本神経治療学会学術集会／NMOSDにおける生物学的製剤とステロイドのリスク・ベネフィット</li><li>■整形外科／長谷川夏美、斎藤和夫、山中美季、宮里輝、岡崎真／第58回日本作業療法学会／肘関節脱臼骨折術後13年経過してから増悪した正中神経麻痺に対する神経剥離術前後のハンドセラピー</li><li>■消化器外科／園田寛道、伊藤良、藪田佳帆、箱崎智樹、代永和秀、田村徳康、梅谷直亨、武田幸樹、山田岳史／第79回日本大腸肛門病学会学術集会／一般市中病院における複雑性虫垂炎に対する低侵襲治療</li><li>■消化器外科／園田寛道、伊藤良、藪田佳帆、箱崎智樹、代永和秀、田村徳康、梅谷直亨、山田岳史、吉田寛／第86回日本臨床外科学会学術集会／働き方改革を見据えた一般市中病院における急性虫垂炎に対する治療戦略</li><li>■河北リハビリテーション病院セラピー部／落合克典、稲垣京司、武田史織、塩崎和広／第58回日本作業療法学会／当財団リハビリ部門におけるラダーの再構築と運用方法の検討</li><li>■河北透析クリニック／岡田圭代／第28回日本腎不全看護学会学術集会・総会／長期留置カテーテル感染予防に対する当院の取り組み</li><li>■整形外科／"Kensuke Ochi 1, Yasuhiro Tajiri 2, Shigeru Kurimoto 3, Yo Kitamura 4, Toshiyuki Tsuruta 5, Shota Ikegami 4, Kazuo Ikeda 6, Hiroshi Satake 7, Masao Nishiwaki 1, Yuki Hara 8, Naoki Kato 9, Rikuo Shinomiya 10, Ryusuke Osada 11, Kenichi Tazaki 12, Masato Okazaki 12, Takao Omura 13, Yuichiro Matsui 14, Hiroshi Yasunaga 15, Masatoshi Amako 16, Hiroyuki Tanaka 17, Yuka Kobayashi 18, Seietsu Senma 19, Shingo Nobuta 20, Shinichi Yamamoto, Shigeharu Uchiyama, Hiroko Narisawa, Kaoru Tada, Yasushi Morisawa, Yukio Horiuchi, Hiroyuki Kato" / J Orthop Sci. 2024 Nov 21:S0949-2658 / Clinical characteristics and results after conservative treatment or interfascicular neurolysis of 100 limbs with spontaneous anterior interosseous nerve palsy: A prospective Japanese multicenter study</li></ul>

11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■消化器外科/園田 寛道、山田 岳史、松田 明久、太田 竜、進士 誠一、代永 和秀、岩井 拓磨、武田 幸樹、上田 康二、栗山 翔、宮坂 俊光、吉田 寛/日本外科感染症学会雑誌/直腸癌術前化学療法後の腹腔鏡手術における縫合不全の予後に対する影響</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■産婦人科/内藤水音、古川誠志、大野珠美、川瀬里衣子/第411回東京産科婦人科学会例会並びに第48回東京産婦人科医会との合同研修会/妊娠糖尿病妊婦の産褥期境界型糖代謝異常例にはインスリン分泌不全が多い</li> <li>■腎臓内科、リウマチ・膠原病科/高橋蒼、鈴木美里亜、宮沢光太郎、横山陽一、銭谷 慕子、須藤 裕嗣、根岸 康介、岡井 隆広、林 松彦/日本内科学会第701回関東地方会/Beer potomaniaによる低Na血症を合併した横紋筋融解症、急性腎障害を持病的血液濾過透析で治療した1例</li> <li>■循環器内科/片野皓介/第44回東京CCU研究会/失神を繰り返す救急搬送され、植込み型ループレコーダにより原因を特定できた1例</li> <li>■消化器外科/園田寛道、箱崎智樹、田村徳康、梅谷直亨/第37回日本内視鏡外科学会総会/中規模市中病院における消化器外科の働き方改革</li> <li>■消化器外科/和氣仁美、梅谷直亨、田波秀朗、水野雅文/第37回日本内視鏡外科学会総会/精神科疾患を持つ術後再発直腸癌患者に対する腹腔鏡手術についての検討</li> <li>■心臓血管外科/池田司/第44回東京CCU研究会/CCUネットワークを介して手術に至った症例</li> <li>■河北リハビリテーション病院セラピー部/波多野陽子/第7回日本理学療法管理学会学術大会/新人指導者評価 ～指導される側から指導を振り返る～</li> <li>■河北リハビリテーション病院セラピー部/波多野陽子/第13回日本理学療法教育学会学術大会/臨床実習指導者評価を用いて 実習中の指導方法の見直しへの取り組み</li> <li>■整形外科/大森 弘樹、湯浅 崇仁、鎌田 孝一、石島 旨章/日本人工関節学会誌 54, 337-338, 2024/Direct anterior approachによる両側同時人工股関節置換術の臨床成績</li> </ul>
2025年 1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■消化器外科/園田寛道、箱崎智樹、代永和秀、田村徳康、梅谷直亨/第102回大腸癌研究会学術集会/放射線治療機器を持たない地域一般病院で行う直腸癌に対するTNT</li> <li>■河北リハビリテーション病院看護部/打越ともこ/第14回日本リハビリテーション栄養学会学術集会/適切な食支援を目指して ET10の導入による効果</li> <li>■河北ファミリークリニック南阿佐谷/山下 洋充、久保田 希、塩田 正喜/JMA J/Patient sex and physician gender as modifiers of low-density lipoprotein cholesterol control in high-risk patients of atherosclerotic disease: a cross-sectional study</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■腎臓内科、リウマチ・膠原病科/谷野舞花、銭谷慕子、根岸康介、岡井隆広/日本内科学会第702回関東地方会/周期性発熱を呈し診断に苦慮したが、persistent pruritic eruptionとIL-18高値で診断した成人Still病の1例</li> <li>■循環器内科/片野皓介/日本不整脈心電学会/第17回植込みデバイス関連冬季大会/たこつぼ症候群により一過性にペースメーカー不全を来した1例</li> <li>■循環器内科/片野皓介/日本不整脈心電学会/第17回植込みデバイス関連冬季大会/植込み型ループレコーダを早期に留置するべきか?</li> <li>■救急集中治療科/清水吹紀、前田敦雄、河北光、八嶋朋子、古畑謙、石塚裕平、石原龍馬、内野正人/第75回日本救急医学会関東地方学術集会/大腿骨頸部骨折が誘因となった胸部症状を認めない たこつぼ心筋症の一例</li> <li>■救急集中治療科/前田敦雄、宮本和幸、林宗貴、土肥謙二/第75回日本救急医学会関東地方学術集会/COVID-19 感染を契機に ITP を合併した 1 例</li> <li>■救急集中治療科/原島健也、谷内優介、瀬之口真美、竹内一貴、河北光、八嶋朋子、前田敦雄、古畑謙、内野正人/第19回東京都病院学会/当院救急車の安全な運用のための取り組み</li> <li>■薬剤科/高島啓輔、土屋啓菜、木全瑛美、小暮宗介、原澤秀樹/第19回東京都病院学会/ノヴァムを活用した冷所医薬品管理の効果</li> <li>■河北リハビリテーション病院看護部/石川沙織、澤田法子、矢野智恵美/第45回回復期リハビリテーション病棟協会研究大会/第45回回復期リハビリテーション看護に特化した研修の導入とその効果</li> <li>■看護統括部/八木裕美子/第19回東京都病院学会/認知症ケアマップ導入の挑戦</li> <li>■看護統括部/後藤順一/第19回東京都病院学会/当院におけるモニタアラームの実態調査と対策の検討</li> <li>■看護統括部/浅野美奈子/第19回東京都病院学会/看護役職者を対象とした手指衛生生活動</li> <li>■栄養科/佐野純子/第19回東京都病院学会/院外調理・クックフリーズシステムの導入</li> <li>■救急集中治療科/Kirigaya J, Matsuzawa Y, Ebina T, Abe T, Iwahashi N, Fukui K, Maeda A, Akashi Y, Ako J, Ikari Y, Namiki A, Michishita I, Sugano T, Tamura K, Hibi K, Kimura K, Suzuki H./J Cardiol/Benefit of prehospital electrocardiogram on door-to-device time in ST-segment elevation myocardial infarction with cardiogenic shock: Data from the Kanagawa Acute Cardiovascular Registry.</li> <li>■救急集中治療科/竹内 一貴、原島 健也、瀬之口 真美、内野正人/日本臨床救急医学会雑誌(JJSEM) Vol.28, No.1,2025/病院救急車運用を主体とした病院救命士の展望</li> <li>■河北ファミリークリニック南阿佐谷/山下 洋充、塩田 正喜/J Gen Fam Med/Home-based collaborative management of bullous pemphigoid with delayed seropositive conversion of anti-BP180-NC16a antibody</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■循環器内科/片野皓介/第89回日本循環器学会学術集会/Incidence and Predictors of Mortality of Patients in Syncope Center</li> <li>■消化器外科/箱崎智樹、伊藤良、藪田佳帆、田村徳康、代永和秀、梅谷直亨、園田寛道/第61回日本腹部救急医学会総会/腹腔鏡下、前方アプローチ併用のHybrid方式で切除した交通型成人Nuck管嚢腫の一例</li> <li>■消化器外科/藪田佳帆、伊藤良、箱崎智樹、代永和秀、田村徳康、梅谷直亨、園田寛道/第61回日本腹部救急医学会総会/貧血を伴うGISTに対して準緊急的に手術を施行した2例</li> <li>■消化器外科/伊藤良、藪田佳帆、箱崎智樹、代永和秀、田村徳康、梅谷直亨、園田寛道/第61回日本腹部救急医学会総会/急性虫垂炎、腸炎に対して、術後ギランバレー症候群を発症した1例</li> <li>■消化器外科/田村徳康、伊藤良、藪田佳帆、箱崎智樹、代永和秀、梅谷直亨、園田寛道/第61回日本腹部救急医学会総会/当院における複雑性虫垂炎に対する待機的虫垂切除の現状</li> <li>■リハビリテーション科/小松桂子/第13回日本がんリハビリテーション研究会/上行結腸癌術後にADLが低下したが治療を継続しつつ自宅退院に至った症例</li> <li>■放射線腫瘍科/Okonogi N, Karasawa K, Murata K, Sayama T, Furuichi I, Ishikawa H/Int J Part Ther/Dose Constraints in Carbon-Ion Radiation Therapy to Minimize the Risk of Pectoral Myositis.</li> <li>■循環器内科/片野 皓介/Cureus 17(3): e80444. DOI 10.7759/cureus.80444/An Implantable Loop Recorder Can Facilitate the Differential Diagnosis of Isolated Cardiac Sarcoidosis: A Case Report</li> <li>■眼科/Goto H, Ono T, Taketani Y, Kimakura M, Toyono T, Miyai T, Aihara M/Cureus./Management of Intraocular Pressure Elevation After Commercially Available Cultivated Oral Mucosal Epithelial Cell Transplantation for Limbal Stem Cell Deficiency</li> </ul>

# 年間イベントカレンダー

地域住民・  
患者さん向け  
勉強会・セミナー  
・主催イベント

地域医療・介護・  
その他連携

財団の出来事  
(職員向けイベント含)

地域イベントへ  
参加・協賛

## 4月

### 杉並事業部

- 河北健康教室「脊髄の病気についてのおはなし」



### 多摩事業部

- 広報誌「あっぱれ」春号発行
- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)
- フレイル予防講座(平尾)

### 多摩事業部

- 能登半島チャリティ食品購入

### 杉並事業部

- 2024年度 新入職員/経験者入社・研修
- 辞令交付式
- 病院救急車クラウドファンディング開始
- 河北家庭医療学センター全体会開催  
～2023年度振り返りと2024年度目標の共有～

### 多摩事業部

- 新入職員研修
- 「多摩市生活支援体制整備事業」「多摩市介護予防・フレイル予防推進員」を多摩市より受託し、「地域づくり推進室」を設立



新入職員/経験者入社・研修



からきだ匠カフェ(認知症カフェ)

## 5月

### 杉並事業部

- 河北健康教室「救命救急 もしもの時の救命活動」
- 家族と健康セミナー(河北家庭医療学センター)

### 多摩事業部

- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)
- オレンジガーデニングプロジェクト多摩開始(～9月まで)



### 杉並事業部

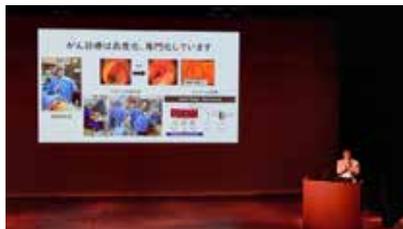
- 第45回杉並心臓病カンファランス
- 消化器疾患センター連携会

### 杉並事業部

- COVID-19対応職員への感謝の会
- 新救急車クラウドファンディング目標金額達成
- グリーフケア スタッフ向け勉強会①(河北家庭医療学センター)

### 多摩事業部

- 中期事業計画策定に向けてビジョンプロジェクト発足
- QC(サービスの質向上)活動表彰



消化器疾患セミナー連携会



クラウドファンディング目標金額達成

## 6月

### 杉並事業部

- 河北健康教室「頭痛について～あぶない頭痛とこまる頭痛～」
- web 河健 Lesson.51「ACPってなあに？」
- web 河健 Lesson.52「ながら体操～スマホやテレビを見ながら簡単体操～」
- 日フィル出張コンサート開催(河北家庭医療学センター)



### 多摩事業部

- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)
- ボランティア説明会・交流会
- フレイル予防講座(中沢)

### 杉並事業部

- カームガーデン下井草(GH)訪問診療開始(河北ファミリークリニック南阿佐谷)
- 杉並内科医会学術講演会
- 中野・杉並 脳卒中Symposium

### 杉並事業部

- 緊急自動車運転訓練
- 納涼祭
- AED講習会開催(河北家庭医療学センター)
- 護身術セミナー開催(河北家庭医療学センター)

### 多摩事業部

- 多摩市まち美化キャンペーン
- 多摩市老人クラブ連合会体力測定会(運営支援)



日本フィルハーモニー交響楽団 弦楽四重奏 出張コンサート



多摩市まち美化キャンペーン

# 7月

## 杉並事業部

- 河北健康教室「夏の体調不良に備えよう 夏バテを知り楽しい夏を過ごす」
- 河健健康教室「かかりつけ医をもとう～健やか元気に暮らすために～」(Web配信)
- 子ども向けイベント AED講習会開催(河北家庭医療学センター)

## 多摩事業部

- 広報誌「あっぱれ」夏発行
- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)

## 杉並事業部

- Severe AsthmaSymposium In杉並

## 杉並事業部

- 自衛消防訓練

## 多摩事業部

- 慰霊祭

## 杉並事業部

- 阿佐谷北六こ近所の会講師「介護保険の使い方」(河北居宅介護支援事業所南阿佐谷)



子ども向けイベント AED講習会



自衛消防訓練



慰霊祭

# 8月

## 杉並事業部

- web河健 Lesson.53「介護保険制度」
- 夏休みキッズ病院体験
- web河健 Lesson.54「転倒やケガを防ぐために!関節を意識したストレッチ」

## 多摩事業部

- あい老健夏まつり
- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)

## 杉並事業部

- 第46回杉並心臓病カンファランス

## 多摩事業部

- 平尾祭り

## 杉並事業部

- グリーンケア スタッフ向け勉強会②(河北家庭医療学センター)
- うちの診療所中野 ACPボードゲーム体験(家庭医療学センター)

## 多摩事業部

- 夏休みこども体験「ファミリーデー」



夏休みキッズ病院体験



あい老健夏まつり



平尾祭り

# 9月

## 杉並事業部

- 河北健康教室「成人股関節疾患の原因と治療」

## 多摩事業部

- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)
- 認知症サポーター養成講座(恵泉女学園大学)

## 多摩事業部

- 永山フェスティバル
- 多摩市フレイル予防プロジェクト

## 杉並事業部

- 医師・看護師・薬剤師のための在宅ケアセミナー
- 河北総合病院眼科連携会
- 第1回がん医療連携会



河北総合病院眼科連携会



東京都消防庁感謝状授与式

## 杉並事業部

- 東京都消防庁感謝状授与式(河北総合病院)
- さすまた講習会開催(河北家庭医療学センター)
- 医師事務作業補助者修了式

## 多摩事業部

- 事業所対抗ポッチャ大会



河北健康教室



さすまた講習会

# 10月

## 杉並事業部

- 河北健康教室「肺がんを知ろう～男性の死亡率1位のがん～」
- シダ祭(シダ・ウォーク)

## 多摩事業部

- 広報誌「あっぱれ」秋発行
- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)
- 第24回市民公開講座
- 宅医療講座(稲城市)



シダ祭

## 杉並事業部

- 多職種連携システム杉介ネットステーション登録(河北ファミリークリニック南阿佐谷)
- 杉並区健康づくり表彰受賞(河北家庭医療学センター)
- 教育ST事業「褥瘡セミナー」(河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷)
- 外来感染対策向上加算に係るカンファレンス・訓練
- 世界脳卒中中デー降圧治療を考える



杉並区健康づくり表彰受賞

## 多摩事業部

- 天本病院防災訓練

## 多摩事業部

- からきだ菖蒲館まつり
- 多摩消防署自衛消防操法大会
- 多摩市まち美化キャンペーン



第24回市民公開講座

# 11月

## 杉並事業部

- ファミクリ文化祭(河北家庭医療学センター)

## 多摩事業部

- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)
- 認知症啓発オレンジウォーキング
- ACP講座



ファミクリ文化祭

## 杉並事業部

- 教育ST事業「ACPボードゲームを活用したACPセミナー」(河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷)
- CKD合併症セミナー
- 杉並CKD診療を学ぶ会
- 河北総合病院病診連携会



病診連携会

## 杉並事業部

- グリーンケア スタッフ向け勉強会③(河北家庭医療学センター)

## 多摩事業部

- 職員ボーリング大会
- 職員遠足(多摩動物園)
- 事例・研究発表大会



認知症啓発オレンジウォーキング



すぎなみフェスタ2024

## 杉並事業部

- すぎなみフェスタ2024

## 多摩事業部

- 多摩市老人クラブ連合会ポッチャ大会(運営支援)



事例・研究発表大会

# 12月

## 杉並事業部

- 河北健康教室「血管の病気を知らう～あなたの血管は何歳ですか?～」
- 河北健康教室「血管の病気を知らう」(Web配信)
- web河健 Lesson.55 イキイキ体操・ワンツーピクス

## 多摩事業部

- クリスマスコンサート
- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)

## 杉並事業部

- 教育ST事業「褥瘡セミナー」(河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷)
- 第47回杉並心臓病カンファレンス
- 広報誌No.104「しぐま」発行

## 杉並事業部

- 納会

## 多摩事業部

- 採用サイトをリニューアル



杉並第一小学校「命の授業」

## 杉並事業部

- 杉並第一小学校「命の授業 赤ちゃんの誕生を学ぼう」

## 多摩事業部

- 多摩市社会福祉協議会赤い羽根募金付き菓子購入
- 多摩市社会福祉協議会フードライブ(食料配布支援)



クリスマスイベント

# 1月

## 杉並事業部

- 河北健康教室「腎臓病にならないために～透析の原因第一は糖尿病～」

## 多摩事業部

- 広報誌「あっばれ」新春号発行
- からぎだ匠カフェ(認知症カフェ)



河北健康教室

## 杉並事業部

- 仕事始めの式
- グリーンケア スタッフ向け勉強会④(河北家庭医療学センター)



## 杉並事業部

- 子ども向けAED講習会出張開催(場所:ふらっと東原)(河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷)
- 河北前田病院講演会講師「フレイル予防100年時代」(河北居宅介護支援事業所南阿佐谷)



子ども向けAED講習会

# 2月

## 杉並事業部

- 河北健康教室「脳腫瘍 認知症の原因かもしれない!」
- web河健 Lesson.56 「ヒップトレーニング」

## 多摩事業部

- ASNポッチャカップ
- からぎだ匠カフェ(認知症カフェ)



ASNポッチャカップ

## 杉並事業部

- 東京都病院学会

## 杉並事業部

- 杉並第一小学校「命の授業 死を考える」
- 杉並第一小学校「命の授業 ～からだの障がいをお互いから考えよう～」
- あさきたきずなサロン「心と身体の元気塾～家族と健康～」(場所:ふらっと東原)(河北ファミリークリニック南阿佐谷)

## 多摩事業部

- 多摩市小学校訪問(グループホーム利用者さんと交流)



あさきたきずなサロン



東京都病院学会



杉並第一小学校「命の授業」

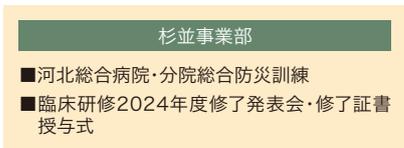
# 3月

## 杉並事業部

- 河北健康教室「からだに優しいがん放射線治療」

## 多摩事業部

- からぎだ匠カフェ(認知症カフェ)
- 第1回ASNカップポッチャ大会



- 河北総合病院・分院総合防災訓練
- 臨床研修2024年度修了発表会・修了証書授与式

## 杉並事業部

## 多摩事業部

- 川崎市いきいき健康フェア

## 杉並事業部

- 杉並区・練馬区泌尿器科連携の会
- 広報誌No.105「しくま」発行
- 広報誌No.106「しくま」発行
- 第2回 がん医療連携会



河北健康教室



川崎市いきいき健康フェア



総合防災訓練



研修修了発表・修了証授与式



# 社会医療法人 河北医療財団

<https://kawakita.or.jp>

〒166-8588

東京都杉並区阿佐谷北1-6-1

TEL:03-3339-2121 (代)



Facebook



Instagram



YouTube



LINE